I-O DATA

USB 2.0/USB 1.1 &無線 LANPC カード

WN-B11/CBU2

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

123043-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,MSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- IBMおよびATは、IBM Corp.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

お読みになる前に..... 3
必ずお守りください 4
本製品で使用する電波について..... 8

ご利用になる前に 11

箱の中には..... 12
各部の名称..... 13
動作環境..... 15
使用上の注意 18

インストール 19

USB ドライバのインストール 20
無線 LAN ドライバのインストール..... 49
設定ユーティリティのインストール..... 64
インストール後の確認..... 66

無線 LAN を使ってみよう 70

アクセスポイントと通信する 71
無線 LAN アダプタのみで通信する..... 79
ファイルを共有する 89

基本操作 102

本製品の取り外し方 103
無線 LAN スイッチ 106
USB 機器の使用 107

付録 ・・・・・・・・・・・・ １０８

設定ユーティリティについて １０９
暗号化する １１３
サポートソフトの削除 １２１
USB について １２４
IP アドレスについて １２６
オプション品について １２８
困ったときには １２９
用語解説 １４０
ハードウェア仕様 １４３
お問い合わせ １４５

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書での呼び方

呼び方	意　味
USB 1.1 ポート	USB 1.1 に対応した USB ポート
USB 2.0 ポート	USB 2.0 に対応した USB ポート
USB ポート	USB 1.1 ポート,USB 2.0 ポートの総称
USB 1.1 機器	USB 1.1 に対応した USB 機器
USB 2.0 機器	USB 2.0 に対応した USB 機器
USB 機器	USB 1.1 機器,USB 2.0 機器の総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System, Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows XP/2000	Windows XP,Windows 2000 の総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows Me/98	Windows Me,Windows 98 の総称
Windows	Windows XP/2000,Windows Me/98 の総称

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


厳守

指定のACアダプタ以外は使用しないでください。

必ず指定のACアダプタをご使用ください。


分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。

火災・感電・動作不良の原因になります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因になります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

必ずお守りください

⚠ 注意


厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。

また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。


注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。


禁止

本製品は以下のような場所（環境）で使用または保管しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度・湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（ジュータン・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所での使用（保管は構いません。）


禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない（特に電源が［ON］になっているときは絶対に振動や衝撃を加えない）
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない


注意

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。

これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。


禁止

本製品を飛行機の中で使用しないでください。

飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータのPC カードスロットから本製品を取り外してください。


禁止

本製品を病院内で使用しないでください。

医療機器の誤動作の原因になることがあります。

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz 帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下および次ページの注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器などは、無線 LAN と同じ電波の周波数帯を使用しています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話/PHS/テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話/PHS/テレビ/ラジオなどは、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線 LAN 製品に近づけた場合は、本製品を含む無線 LAN 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

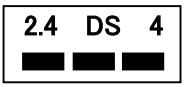
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：サポートセンター　電話：　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144



2.4：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す
DS ：変調方式を表す
4 ：想定される与干渉距離を表す（<=40m）
■■■：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

Memo

ご利用になる前に

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・ １２
箱の中のものを確認します。

各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・ １３
コネクタなどの名前と機能を説明します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・ １５
本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

使用上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・ １８
ご使用になる際の注意点を説明します。

箱の中には

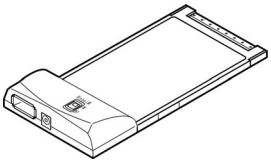
箱の中には下記のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不良品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

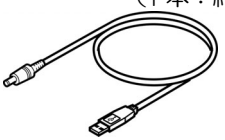
箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

□ WN-B11/CBU2（1 個）



□ USB 電源補助ケーブル
（1 本：約 50cm）



□ WN-B11/CBU2 サポートソフト CD-ROM
（1 枚）



☑ 取扱説明書（本書：1 冊）

□ 「無線 LAN について」シール
（1 枚）

□ ハードウェア保証書（1 枚）

ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

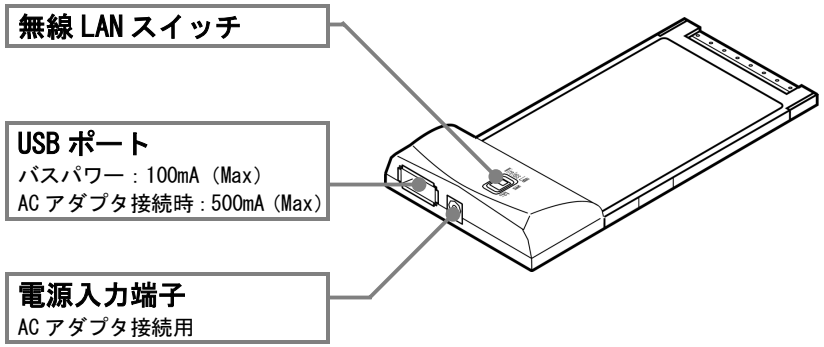
▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている 12 桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

各部の名称

WN-B11/CBU2



※AC アダプタについては【オプション品について】（１２８ページ）を参照してください。

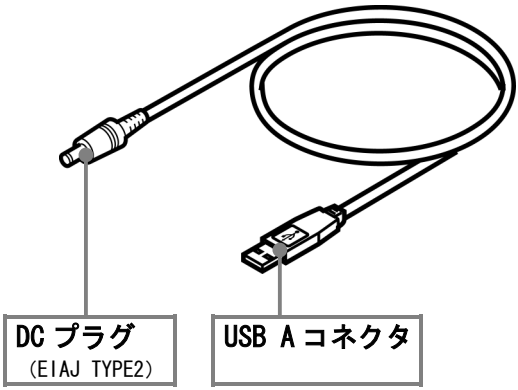
USB 電源補助ケーブル

本ケーブルを併用することでパソコン本体から電源を供給することが可能です。

電源の供給について

USB電源補助ケーブルまたはACアダプタを使用しない状態で、電流値が100mA～500mAのバスパワーデバイスを接続しないでください。正常に動作せず故障の原因となります。（本製品単体でのUSBバスパワー供給は最大100mAです。）

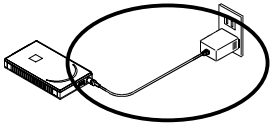
次ページも参照してください。



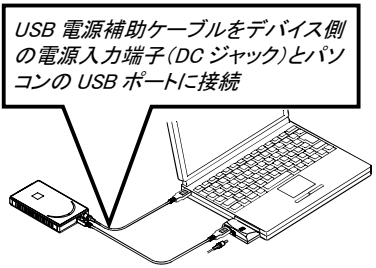
電流値の大きいUSB機器を接続する場合

本製品に接続するUSB機器（バスパワー）の電流値が大きい（100mA～500mA）場合は、前ページのUSB電源補助ケーブルまたは別売のACアダプタを接続してください。

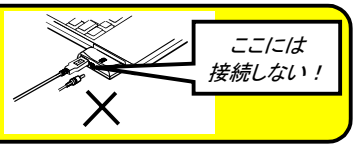
- 本ケーブルのUSBコネクタ側を接続するパソコンの電源供給能力が低い場合は、USBバスパワーデバイスが正常に動作しない可能性があります。
  その場合は、別売のACアダプタ
  (USB-ACADP)をお買い求めください。
  （１２８ページ参照）



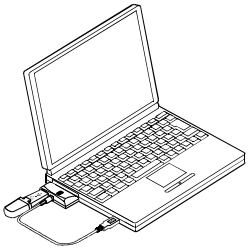
- WN-B11/CBU2と弊社製USBバスパワーデバイス(100mA～500mA動作)を
  USBケーブルで接続する場合　（例：HDP-UPシリーズ）
  USB電源補助ケーブルは、必ず弊社製USBバスパワーデバイス側の電源入力端子(DCジャック)に接続してください。(デバイス側のUSBケーブルでの電圧降下によって、USBバスパワーデバイスが正常に動作しない可能性があります。)



注意：USB電源補助ケーブルは WN-B11/CBU2の電源入力端子に 接続しないでください。



- WN-B11/CBU2と弊社製USBバスパワーデバイス(100mA～500mA動作)を
  直接接続する（USBケーブルを使わないで接続する）場合
  （例：EasyDisk）
  USB電源補助ケーブルをWN-B11/CBU2の電源入力端子に接続可能です。



※USBポートの位置はお使いのパソコンによって異なります。
　パソコンの取扱説明書をご覧ください。

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応 OS

対応機種	対応 OS（日本語版のみ）
CardBus対応PCカード(TypeⅡ)スロット※1, 搭載の下記の機種 ・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン※2※3	Windows XP※4※5 Windows 2000※4※6 Windows Me※4 Windows 98(Second Edition 含む)※4

※1　お使いのパソコンが CardBus 対応機種かどうかの確認方法は、
【CardBus 対応機種の確認方法】（次ページ）をご覧ください。

※2　弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認をしています。

※3　下記の機種を除きます。

DELL	Inspiron 2600、Inspiron 2650
富士通	FMV BIBLO 5133NU5/W、FMV BIBLO NC13D
EPSON	Endeavor NT-800
Panasonic	Let's NOTE ace AL-N3T516J5

※4　ストレージデバイス以外のカメラやビデオキャプチャ等のアイソクロナス転送の場合は、USB 1.1 として動作します。
また、USB ハブを接続した場合も USB 1.1 として動作します。
＊Windows XP/2000 の場合、※4 の内容は弊社製サポートソフトを使用した場合に該当します。マイクロソフト社製 USB 2.0 ドライバを使用した場合は該当しません。

※5　マイクロソフト社製 USB 2.0 ドライバを使用する場合、Service Pack 1 以降が必要です。入手できない場合は、同梱の弊社製サポートソフトをインストールしてください。
⇒詳しくは【Windows XP で Service Pack 1 が入手できる場合】（２０ページ）をご覧ください。

※6　本製品に必要なソフトウェア（ドライバ）は、マイクロソフト社製 USB 2.0 ドライバを「Windows Update」よりインストールしてください。
インターネットに接続できない場合は、同梱の弊社製サポートソフトよりインストールしてください。
⇒詳しくは【Windows 2000 でインターネットに接続できる場合】（２８ページ）をご覧ください。



本製品を同時に複数枚取り付けることはできません
複数枚取り付けた場合の使用については、保証いたしかねます。

参考

CardBus 対応機種の確認方法

●Windows XP/2000の場合

①[マイコンピュータ]を右クリックして、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

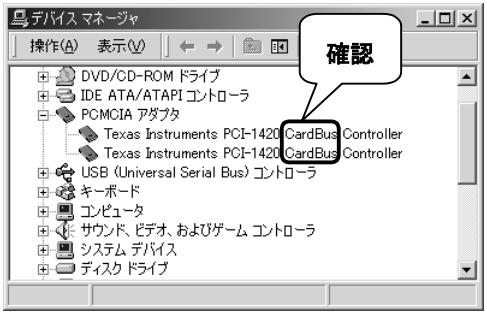
※Windows XPの場合は、[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

③[表示]をクリックして、[デバイス（種類別）]をクリックします。

④[PCMCIAアダプタ]をダブルクリックします。

⑤表示に「CardBus」という記述があることを確認します。



（上記の画面はWindows 2000の一例）

●Windows Me/98の場合

①[マイコンピュータ]を右クリックして、表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

③[種類別に表示]をチェックします。

④[PCMCIAソケット]をダブルクリックします。

⑤表示に「CardBus」という記述があることを確認します。

CardBusの確認について

・前ページの確認で、「CardBus」の表示になっていてもハード的にCardBus対応機種ではない場合があります。
⇒お使いのパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。またはパソコン本体メーカーへお問い合わせください。

・本製品がパソコンのPCカードスロットに正しく挿入できない場合、パソコン本体のカードスロットがCardBusではない可能性があります。
⇒お使いのパソコン本体の取扱説明書でご確認ください。

通信可能機器

IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN 製品と通信できます。
《弊社無線 LAN WN-B11 シリーズ》

・無線 LAN PC カード「WN-B11/PCMH」「WN-B11/PCM」「WN-B11/CF」
・無線 LAN USB アダプタ「WN-B11/USBH」「WN-B11/USB」「WN-B11/USBS」
・無線 LAN アクセスポイント「WN-B11/AXP」「WN-B11/AXPH」
「WN-B11/LAN」（アクセスポイントモード）
・無線ブロードバンドルータ「WN-B11/BBRH」「WN-B11/BBR」「WN-B11/PCIH」
「WN-B11/PCI」
・無線プリントサーバ「WN-B11/PRS」
・無線 ISDN ルータ「WN-B11/INS」

本製品は、以下とは通信できません

・弊社製 無線LAN WN-A54シリーズ
・弊社製 無線LAN PCカードPCWN-W10
・弊社製 コードレスネットワークシンフォニーシリーズ（WN-S/560, WN-S/PCI, PCWN-S）
・弊社製 無線スイッチングハブWNA-FSWH4

使用上の注意

本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。

●使用上の注意

・USB キーボードを接続する場合

一般に、USB 機器は Windows が起動した後で使えるようになります。
そのため、本製品に接続した USB キーボードは Windows 起動前には使えません。

参考

USBキーボードで使えない機能例
- パソコンのBIOS設定
- 接続している周辺機器のBIOS設定
- Windowsのセーフモード
- OSをインストール中の操作

・スタンバイ・休止状態などの省電力機能を使わないでください

本製品を取り付けた状態で、省電力機能を使用しないでください。
ACPI 規格（省電力機能等）には対応しておりません。

・AC アダプタは添付しておりません

本製品に接続するUSB機器(バスパワー※)の消費電流が100mA～500mAの場合は、添付のUSB電源補助ケーブルを接続するか、別売のACアダプタ「USB-ACADP」を別途ご購入ください。（【オプション品について】（１２８ページ）参照）
500mAを超える場合は保証外です。あらかじめご了承ください。
ACアダプタ使用時は、本製品のUSBポートに500mA(max)の電源を供給します。
※セルフパワーのUSB機器を接続した場合は、ACアダプタは不要です。
バスパワー、セルフパワーについては、【USB について】（１２４ページ）を参照してください。

●本製品の修理について

本製品の修理については、【修理について】（１４６ページ）をご覧ください。

インストール

USB ドライバのインストール ・・・・・・・・・・・・・・ ２０
USB ドライバのインストール方法を説明します。

無線 LAN ドライバのインストール ・・・・・・・・・・・・・・ ４９
無線 LAN ドライバのインストール方法を説明します。

設定ユーティリティのインストール ・・・・・・・・・・・・・・ ６４
設定ユーティリティのインストール方法を説明します。

インストール後の確認 ・・・・・・・・・・・・・・ ６６
インストール後の確認方法を説明します。

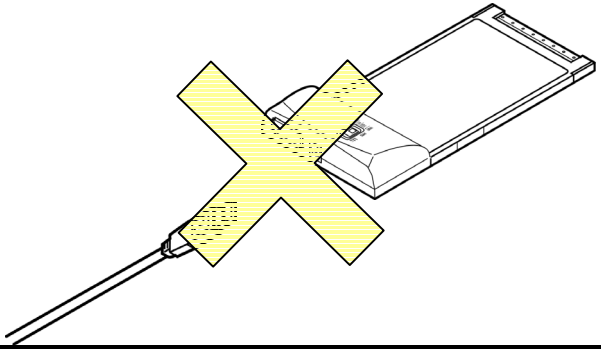
USB ドライバのインストール

ここでは、USB ドライバ（USB を動作させるためのソフトウェア）のインストールについて説明します。
ご利用の環境により、以下の必要な個所をご覧ください。

利用環境	
Windows XP で Service Pack 1 が入手できる場合	下記
Windows XP で Service Pack 1 が入手できない場合	２５ページ
Windows 2000 でインターネットに接続できる場合	２８ページ
Windows 2000 でインターネットに接続できない場合	３４ページ
Windows Me をお使いの場合	３８ページ
Windows 98 をお使いの場合	４１ページ

注意

USB機器を接続しないでください！
本手順が終わるまで、本製品にUSB機器を接続しないでください。



Windows XP で Service Pack 1 が入手できる場合

インターネットに接続して、マイクロソフト社の「Windows Update」から「Windows XP Service Pack 1」をダウンロードしてインストールします。

1 Windowsを起動します。

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

2 Service Pack 1がインストールされているか確認します。

［スタート］→［マイコンピュータ］（右クリック）→［プロパティ］を順にクリックします。



［全般］タブをクリックして、表示を確認します。



Service Pack 1 がインストールされていない場合はインストールします。
インストールされている場合は手順 4 へ進んでください。

3 Service Pack 1をダウンロードします。

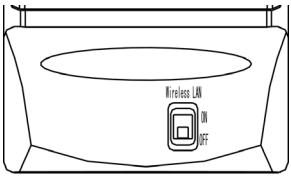
マイクロソフト社の「Windows Update」からダウンロードします。

URL **http://windowsupdate.microsoft.com/**

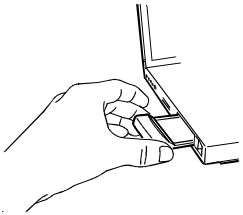
画面の指示に従ってインストールしてください。

4 無線LANスイッチが［OFF］になっていることを確認します。

初期状態では無線 LAN スイッチが［OFF］になっていますので、そのまま差してください。



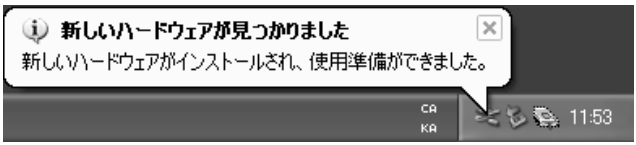
5 Windows XPが起動していることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。



挿入時のポイント

・必ず本製品のラベル面を上にして挿入してください。
　※うまく入らない場合は無理に挿入せず、いったん抜いて本製品の向きをご確認ください。
・パソコンのPCカードスロットにしっかりと奥まで挿入してください。
・パソコンのPCカードスロットが2段の場合で、本製品と他のPCカードを同時に使用する場合は、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
　※併用するPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合は、同時に使用することはできません。

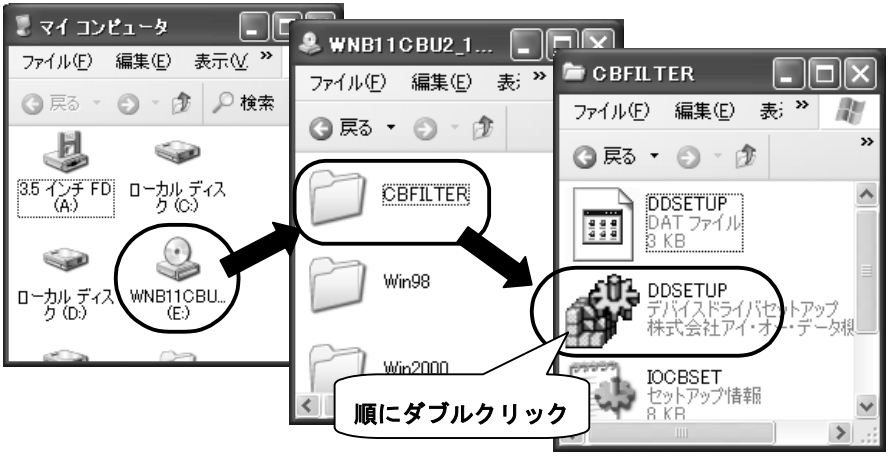
6 以下の画面が表示されます。



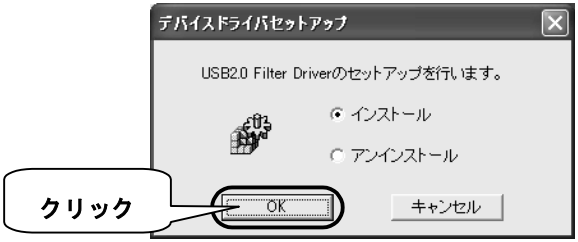
7 **「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。**

8 **ディスク内のDDSETUPを起動します。**

[スタート]→[マイコンピュータ]をクリック後、
[CD-ROM]アイコン（*[WNB11CBU...]*）→[CBFILTER]→[DDSETUP]アイコンを順にダブルクリックします。



9 **[インストール]がチェックされていることを確認後、[OK]ボタンをクリックします。**



10 **[OK]ボタンをクリックします。**



// 「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」ディスクを取り出し、[はい]ボタンをクリックします。

クリック後、自動的にWindows XPを再起動しますので、しばらくお待ちください。



以上で USB ドライバのインストールは完了しました。
次に無線LANドライバをインストールします。
【無線LANドライバのインストール】（４９ページ）へ進んでください。

Windows XP で Service Pack 1 が入手できない場合

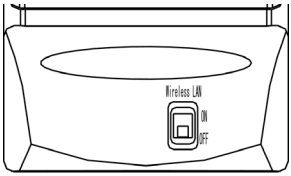
本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

1 Windowsを起動します。

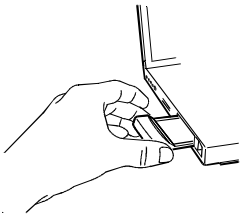
コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

2 無線LANスイッチが［OFF］になっていることを確認します。

初期状態では無線 LAN スイッチが［OFF］になっていますので、そのまま差してください。



3 Windows XPが起動していることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。



注意

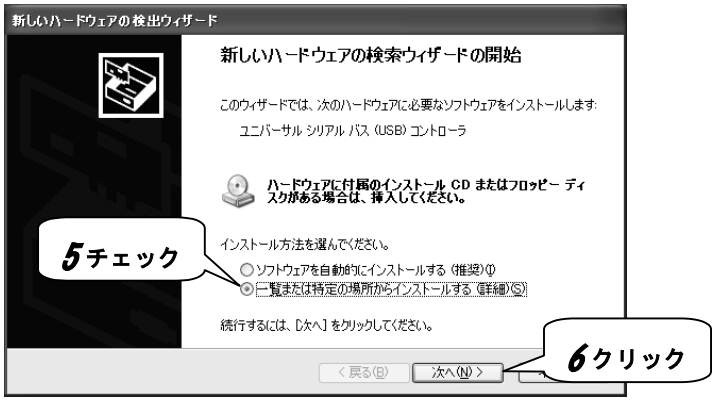
挿入時のポイント

・必ず本製品のラベル面を上にして挿入してください。
　※うまく入らない場合は無理に挿入せず、いったん抜いて本製品の向きをご確認ください。
・パソコンのPCカードスロットにしっかりと奥まで挿入してください。
・パソコンのPCカードスロットが2段の場合で、本製品と他のPCカードを同時に使用する場合は、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
　※併用するPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合は、同時に使用することはできません。

4 「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

5 **［一覧または特定の場所から…］をチェックします。**

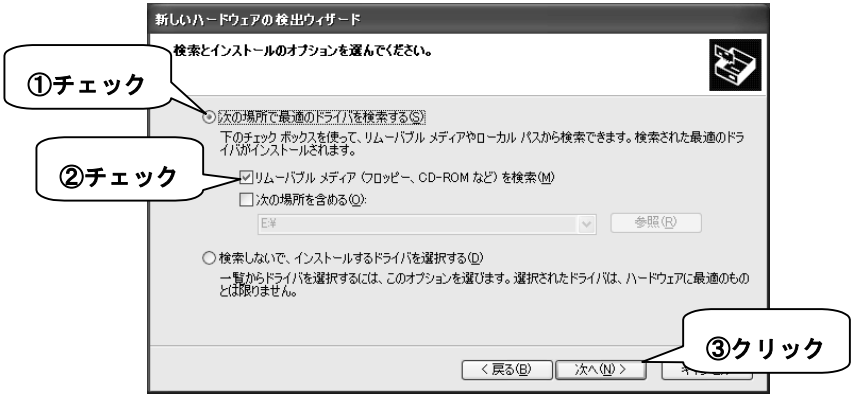
6 **［次へ］ボタンをクリックします。**



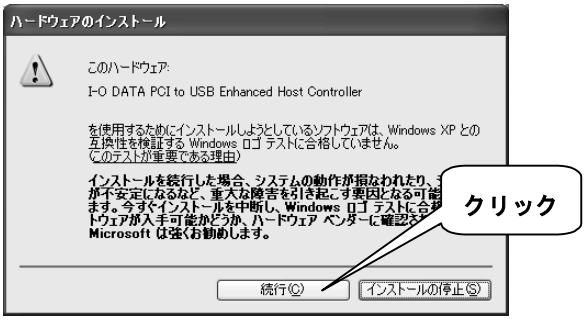
7 **下記項目をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

［次の場所で最適のドライバを検索する］

［リムーバブルメディアを検索］



8 ［続行］ボタンをクリックします。



参考

本製品は問題なくお使いいただけます

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。

マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

9 ［完了］ボタンをクリックします。



以上で USB ドライバのインストールは完了しました。
次に無線LANドライバをインストールします。
【無線LANドライバのインストール】（４９ページ）へ進んでください。

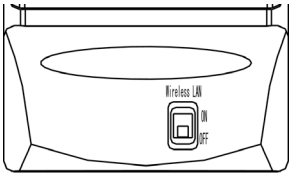
Windows 2000 でインターネットに接続できる場合

1 Windowsを起動します。

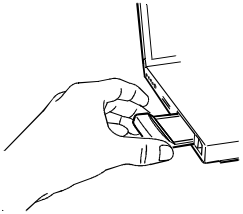
コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

2 無線LANスイッチが［OFF］になっていることを確認します。

初期状態では無線 LAN スイッチが［OFF］になっていますので、そのまま差してください。



3 Windows 2000が起動していることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。



挿入時のポイント

・必ず本製品のラベル面を上にして挿入してください。
　※うまく入らない場合は無理に挿入せず、いったん抜いて本製品の向きをご確認ください。
・パソコンのPCカードスロットにしっかりと奥まで挿入してください。
・パソコンのPCカードスロットが2段の場合で、本製品と他のPCカードを同時に使用する場合は、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
　※併用するPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合は、同時に使用することはできません。

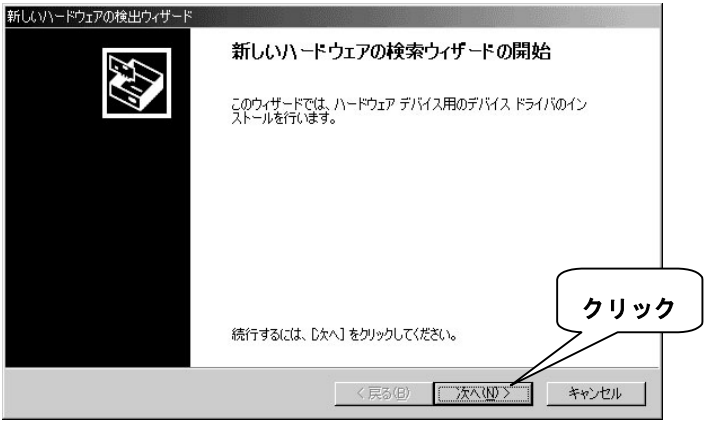
参考

しばらく下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。

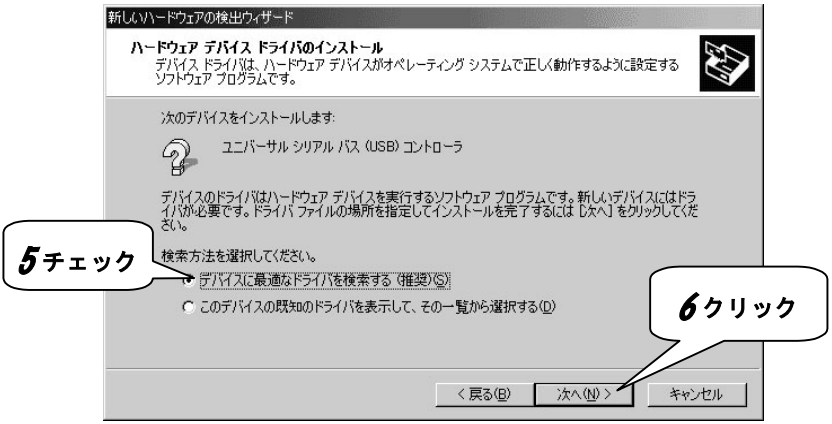


4 ［次へ］ボタンをクリックします。



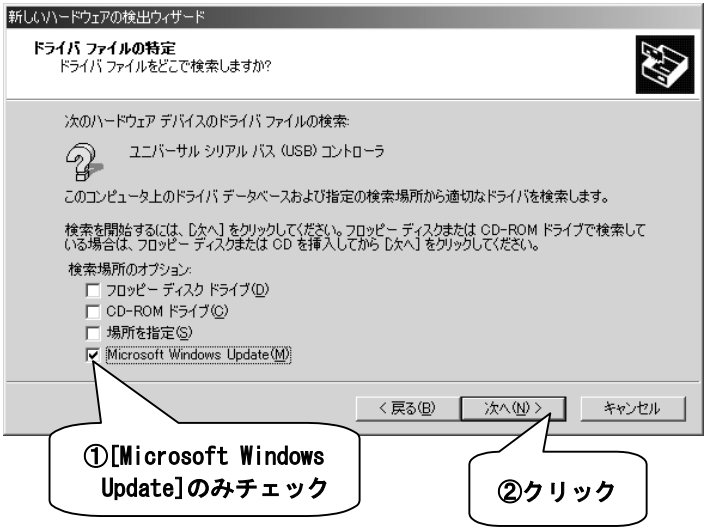
5 ［デバイスに最適なドライバを検索する］をチェックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。



7 [Microsoft Windows Update] のみから検索します。

[Microsoft Windows Update] のみにチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。



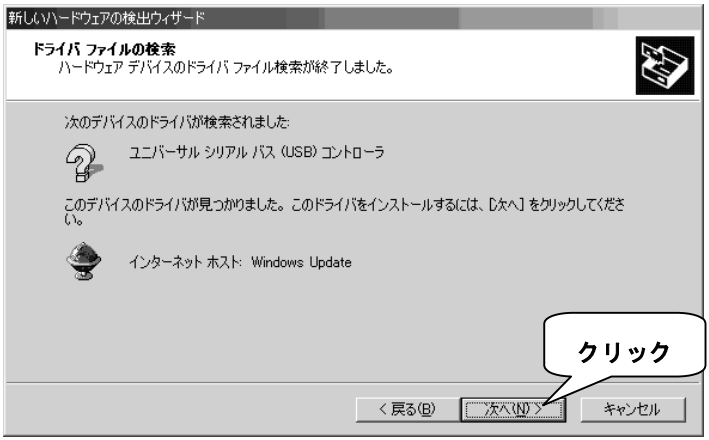
参考

以下のような画面が表示された場合は

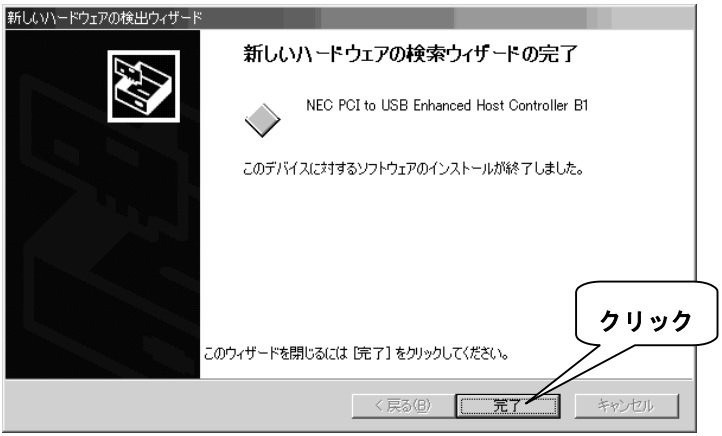
[接続] ボタンをクリックします。



8 ［次へ］ボタンをクリックします。

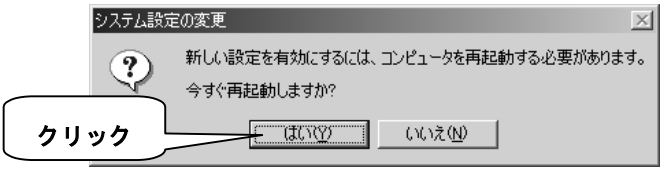


9 ［完了］ボタンをクリックします。



10 ［はい］ボタンをクリックします。

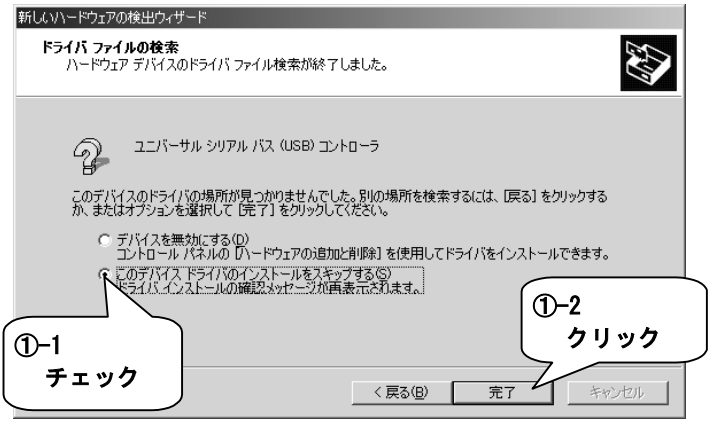
⇒パソコンが再起動されます。



以下の「このデバイスのドライバの場所が…」と表示された場合は

①［このデバイスドライバのインストールをスキップする］をチェック後、［完了］ボタンをクリックします。

⇒セットアップをいったん中止してください。



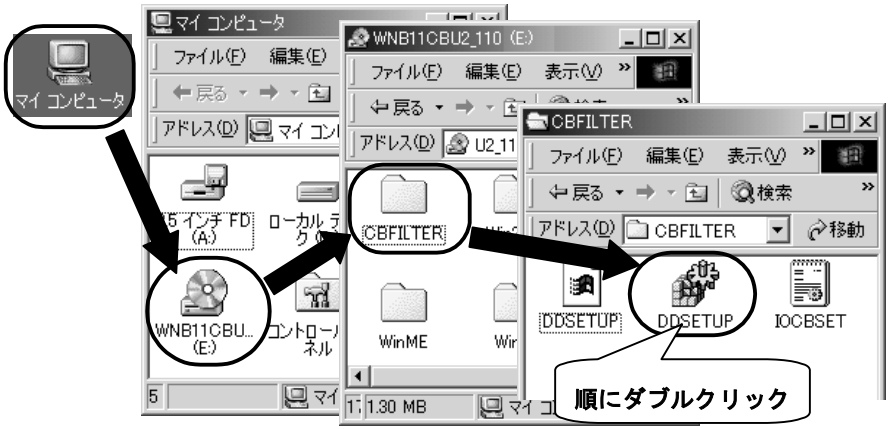
②Windowsを再起動します。

③【Windows 2000でインターネットに接続できない場合】（次ページ）の手順でドライバをインストールしてください。

11 Windows 2000が起動した後、「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します

12 ディスク内のDDSETUPを起動します。

[マイコンピュータ]→[CD-ROM]アイコン（*[WNB11CBU...]*）→[CBFILTER]→[DDSETUP]アイコンを順にダブルクリックします。



13 **[インストール]がチェックされていることを確認後、[OK]ボタンをクリックします。**



14 **[OK]ボタンをクリックします。**



15 **「USB 2.0インターフェイスサポートソフト」ディスクを取り出し、[はい]ボタンをクリックします。**

クリック後、自動的にWindows 2000を再起動しますので、しばらくお待ちください。



以上でUSBドライバのインストールは完了しました。
次に無線LANドライバをインストールします。
【無線LANドライバのインストール】（４９ページ）へ進んでください。

Windows 2000 でインターネットに接続できない場合

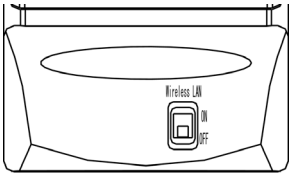
本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

1 Windowsを起動します。

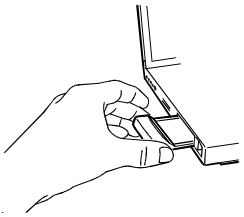
コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

2 無線LANスイッチが［OFF］になっていることを確認します。

初期状態では無線 LAN スイッチが［OFF］になっていますので、そのまま差してください。



3 Windows 2000が起動していることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。



挿入時のポイント

・必ず本製品のラベル面を上にして挿入してください。
　※うまく入らない場合は無理に挿入せず、いったん抜いて本製品の向きをご確認ください。
・パソコンのPCカードスロットにしっかりと奥まで挿入してください。
・パソコンのPCカードスロットが2段の場合で、本製品と他のPCカードを同時に使用する場合は、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
　※併用するPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合は、同時に使用することはできません。

参考

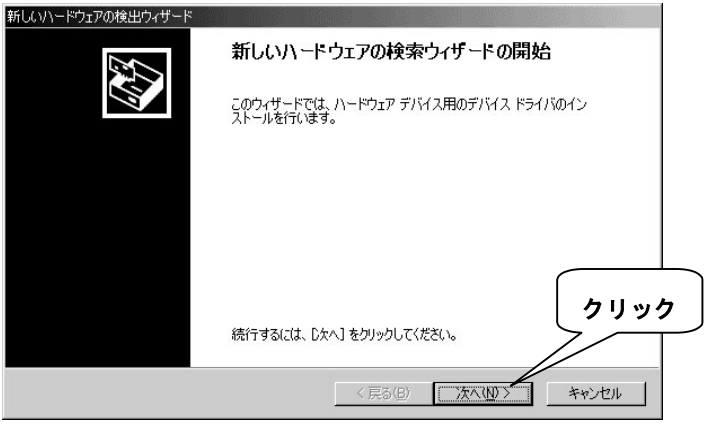
しばらく下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。



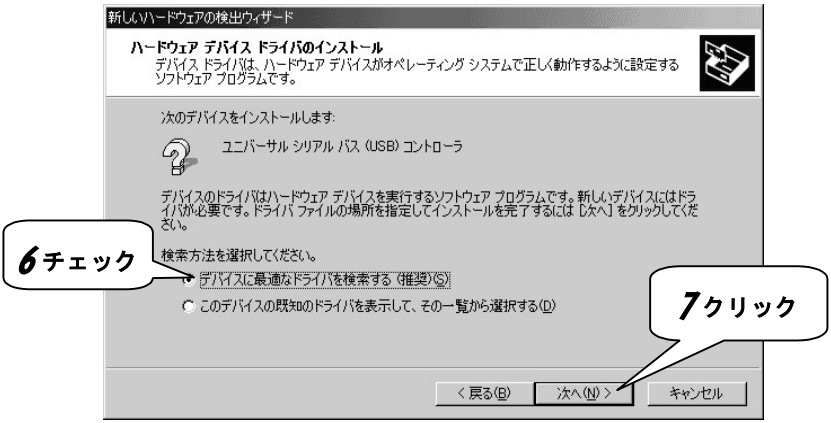
4 「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。



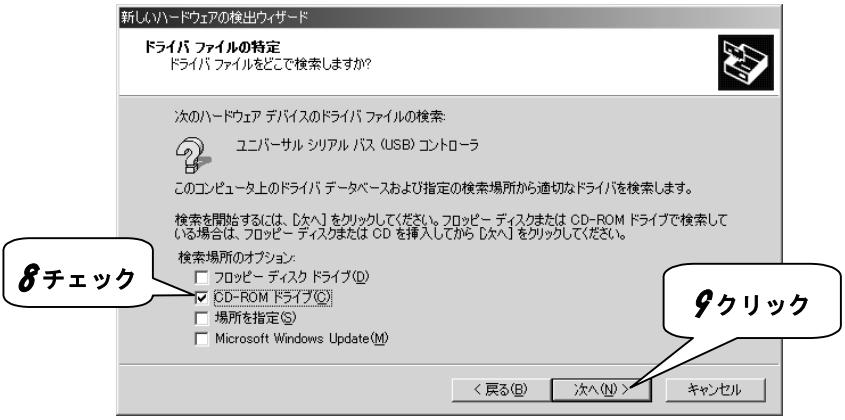
6 ［デバイスに最適なドライバを検索する］をチェックします。

7 ［次へ］ボタンをクリックします。



8 ［CD-ROMドライブ］をチェックします。

9 ［次へ］ボタンをクリックします。



参考

サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は

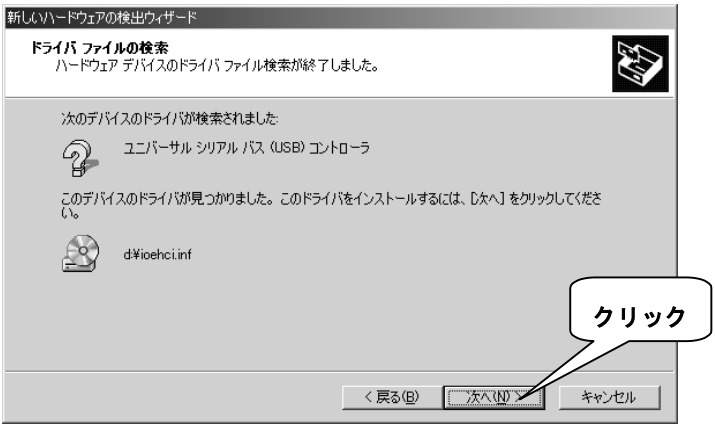
①[ドライバの場所を指定する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

②[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する][検索場所の指定]をチェックして、[参照]ボタンをクリックします。

③[フォルダの参照]画面で、ダウンロードした場所を指定してください。

④再び②の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

10 ［次へ］ボタンをクリックします。



// ［完了］ボタンをクリックします。

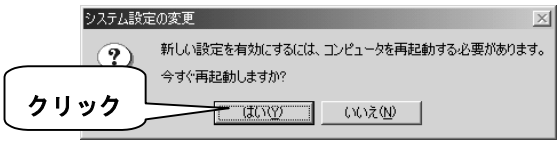


参考

下のような画面が表示されたら

「サポートソフト」をCD-ROMドライブから取り出し、[はい]ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動します。



パソコンの再起動後、再び「サポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

以上でUSB ドライバのインストールは完了しました。

次に無線LANドライバをインストールします。

【無線LANドライバのインストール】（４９ページ）へ進んでください。

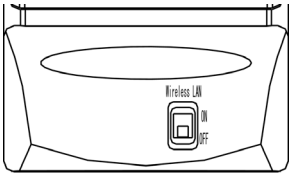
Windows Me をお使いの場合

本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

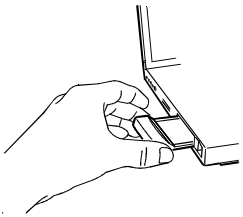
1 Windowsを起動します。

2 無線LANスイッチが［OFF］になっていることを確認します。

初期状態では無線 LAN スイッチが［OFF］になっていますので、そのまま差してください。



3 Windows Meが起動していることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。



挿入時のポイント

・必ず本製品のラベル面を上にして挿入してください。
　※うまく入らない場合は無理に挿入せず、いったん抜いて本製品の向きをご確認ください。
・パソコンのPCカードスロットにしっかりと奥まで挿入してください。
・パソコンのPCカードスロットが2段の場合で、本製品と他のPCカードを同時に使用する場合は、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
　※併用するPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合は、同時に使用することはできません。

参考

しばらく下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。



［バージョンの競合］画面が表示された場合は…

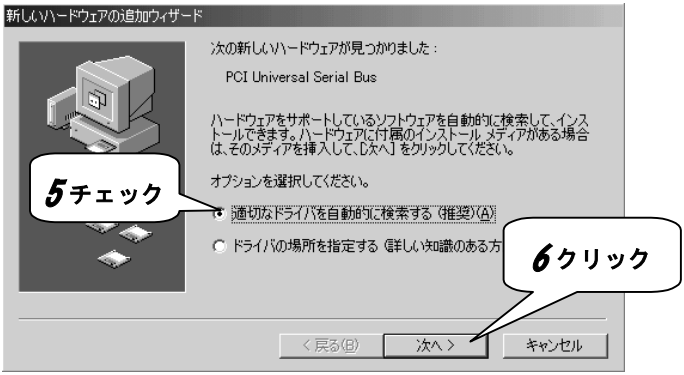
「既存のファイルをそのまま使用しますか？」と表示される場合は、［はい］ボタンをクリックします。

4 「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

5 ［適切なドライバを自動的に検索する(推奨)］をチェックします。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

しばらくして自動的にインストールが始まります。



参考

サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は

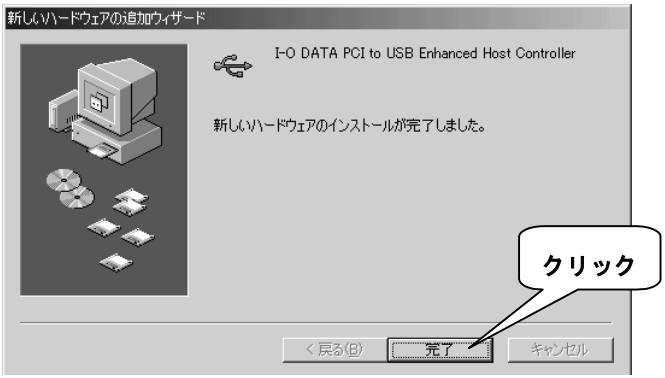
①[ドライバの場所を指定する]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

②[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する][検索場所の指定]をチェックして、[参照]ボタンをクリックします。

③[フォルダの参照]画面で、ダウンロードした場所を指定してください。

④再び②の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

7 ［完了］ボタンをクリックします。



以上で USB ドライバのインストールは完了しました。
次に無線LANドライバをインストールします。
【無線LANドライバのインストール】（４９ページ）へ進んでください。

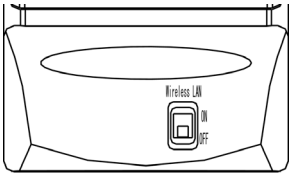
Windows 98 をお使いの場合

本製品に同梱のサポートソフトを使用してインストールします。

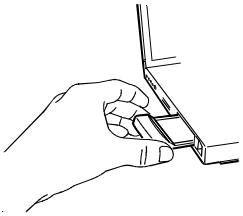
1 Windowsを起動します。

2 無線LANスイッチが［OFF］になっていることを確認します。

初期状態では無線 LAN スイッチが［OFF］になっていますので、そのまま差してください。



3 Windows 98が起動していることを確認後、本製品のラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。



注意

挿入時のポイント

・必ず本製品のラベル面を上にして挿入してください。
　※うまく入らない場合は無理に挿入せず、いったん抜いて本製品の向きをご確認ください。
・パソコンのPCカードスロットにしっかりと奥まで挿入してください。
・パソコンのPCカードスロットが2段の場合で、本製品と他のPCカードを同時に使用する場合は、本製品を上側のPCカードスロットに挿入してください。
　※併用するPCカードの形状によっては、上側のPCカードスロットに挿入できない場合があります。その場合は、同時に使用することはできません。

参考

しばらく下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。



［バージョンの競合］画面が表示された場合は…

「既存のファイルをそのまま使用しますか？」と表示される場合は、
［はい］ボタンをクリックします。

4 「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

5 ［次へ］ボタンをクリックします。



（上記の画面は、お使いのOSがWindows 98 SE※の場合の表示）

※お使いのOSがWindows 98の場合は、
「次の新しいドライバを検索しています：NEC PCI to USB Open Host Controller」と表示されます。

6 ［使用中のデバイスに最適な…］をチェックします。

7 ［次へ］ボタンをクリックします。



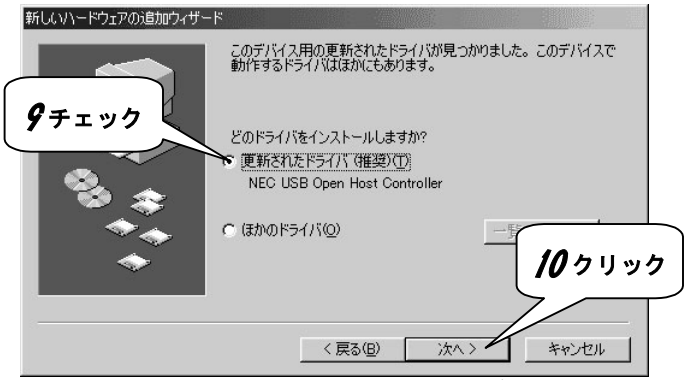
8 すべてのチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。



9 **［更新されたドライバ（推奨）］をチェックします。**

10 **［次へ］ボタンをクリックします。**

しばらくして自動的にインストールが始まります。

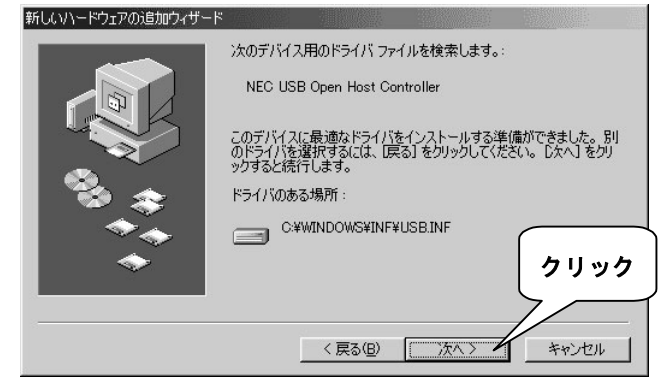


（上記の画面は、お使いの OS が Windows 98 SE※の場合の表示）

※お使いの OS が Windows 98 の場合は、

「更新されたドライバ（推奨）：NEC PCI to USB Open Host Controller」と表示されます。

11 **［次へ］ボタンをクリックします。**



（上記の画面は、お使いの OS が Windows 98 SE※の場合の表示）

※お使いの OS が Windows 98 の場合は、

「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。：NEC PCI to USB Open Host Controller」と表示されます。

参考

下のような画面が表示されたら

WindowsのCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、［OK］ボタンをクリックしてください。



（上記の画面はWindows 98 SEの場合の例）

下のような画面が表示されたら

①［参照］ボタンをクリックします。⇒［開く］画面が表示されます。
②WindowsのCD-ROMを挿入した、CD-ROMドライブを選択します。
③［WIN98］フォルダをダブルクリックします。
※［WIN98］フォルダがない場合は、Cドライブを選択し、［Windows］→［Options］→［Cabs］の順にフォルダをダブルクリックします。
④［開く］ボタンをクリックします。下の画面に戻ります。
⑤［OK］ボタンをクリックします。

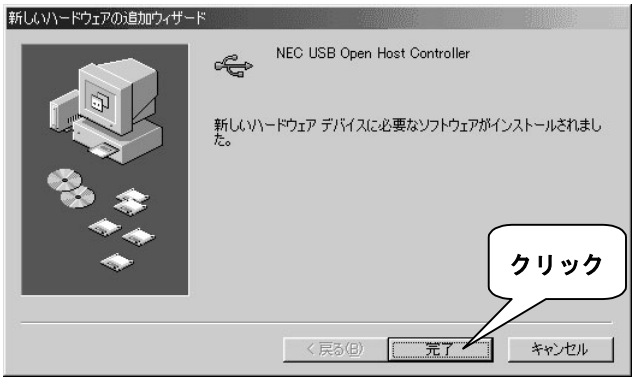


（上記の画面はCD-ROMドライブがEドライブの場合の例）

［バージョンの競合］画面が表示された場合は

［既存のファイルをそのまま使用しますか？］と表示される場合は、［はい］ボタンをクリックします。

12 ［完了］ボタンをクリックします。



13 ドライバを確認し、［次へ］ボタンをクリックします。

①ドライバが［PCI Universal Serial Bus］であることを確認します。
②［次へ］ボタンをクリックします。



参考

［次へ］ボタンをクリック後、再び手順5の画面が表示された場合は
⇒再度、手順5から行ってください。

14 ［使用中のデバイスに･･･］をチェックします。

15 ［次へ］ボタンをクリックします。



16 ［CD-ROMドライブ］のみから検索します。

［CD-ROMドライブ］のみにチェックし、［次へ］ボタンをクリックします。

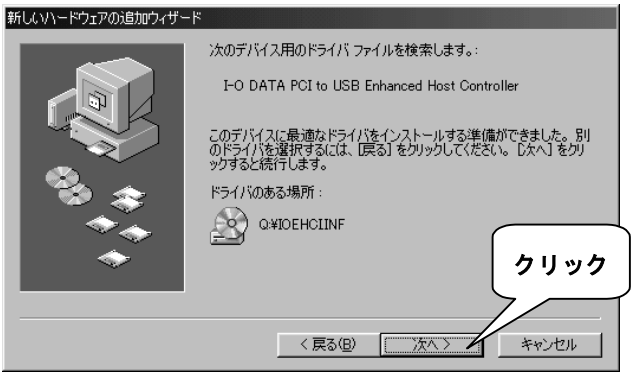


参考

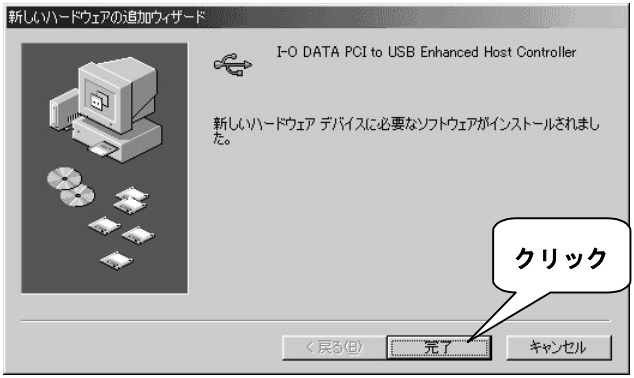
サポートソフトをお使いのパソコンにダウンロードした場合は

①[検索場所の指定]のみにチェックし、[参照]ボタンをクリックします。
②ダウンロードした場所を指定してください。
③再び①の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

17 ［次へ］ボタンをクリックします。



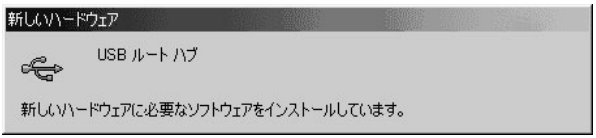
18 ［完了］ボタンをクリックします。



参考

しばらく下のような画面が表示されます

この画面はしばらくすると自動的に消えますので、消えるまでお待ちください。



以上で USB ドライバのインストールは完了しました。

次に無線LANドライバをインストールします。

【無線LANドライバのインストール】（４９ページ）へ進んでください。

無線 LAN ドライバのインストール

ここでは、無線 LAN ドライバ（無線 LAN を動作させるためのソフトウェア）のインストールについて説明します。

インストール

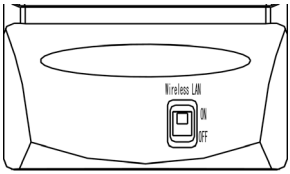
ご使用の Windows によってインストール方法が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP をお使いの場合	下記
Windows 2000 をお使いの場合	５２ページ
Windows Me/98 をお使いの場合	５７ページ

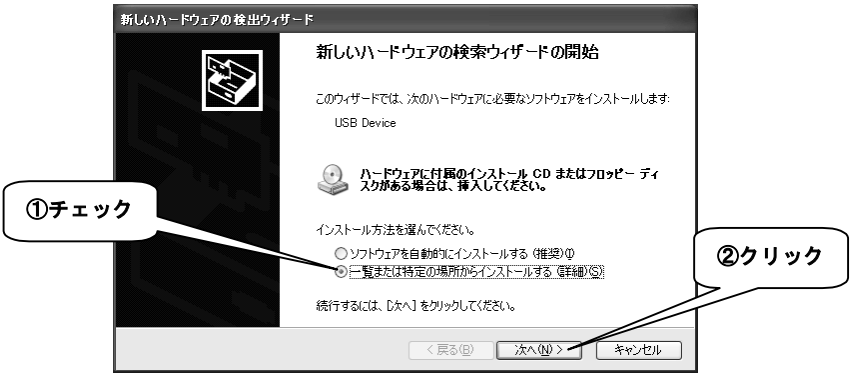
●Windows XP をお使いの場合

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 本製品の無線LANスイッチを［ON］にします。



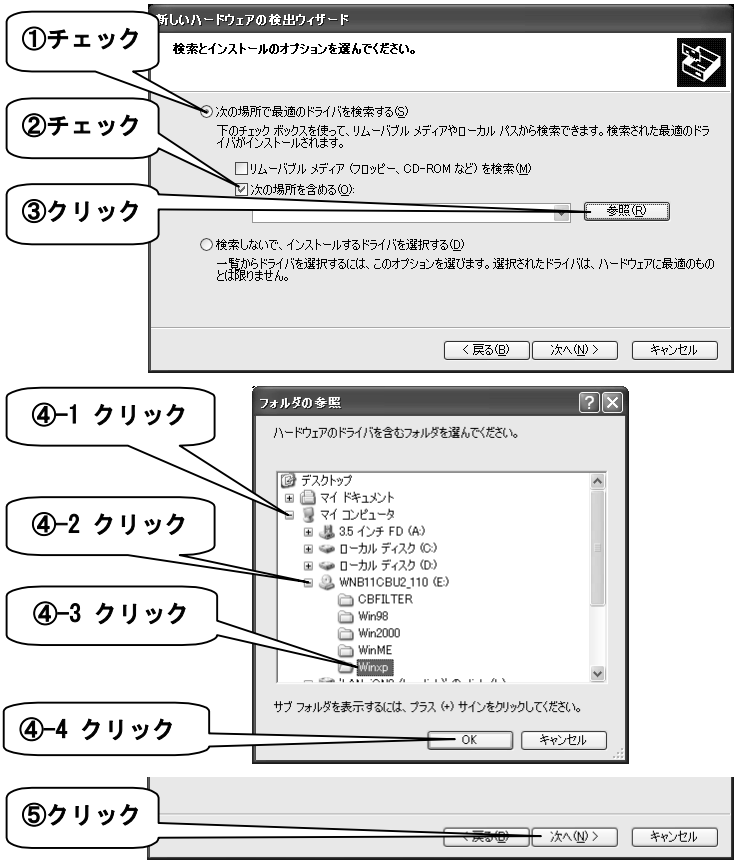
3 ［一覧または…］をチェックし［次へ］ボタンをクリックします。



4 「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

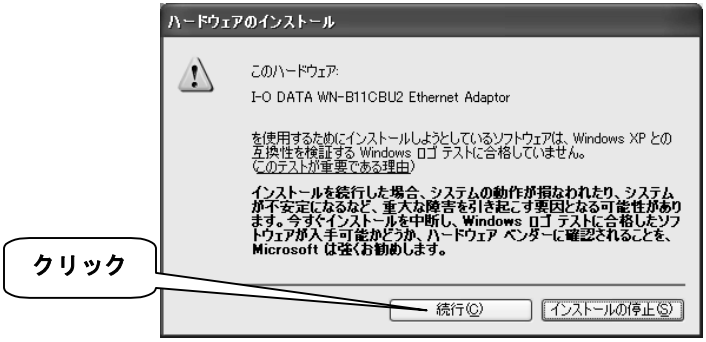
5 ドライバの検索場所を指定します。

①［次の場所で最適のドライバを検索する］をチェックします。
②［次の場所を含める］のみをチェックします。
（その他の項目のチェックは外してください。）
③［参照］ボタンをクリックします。
④［マイコンピュータ］→［CD-ROMドライブ］→［Winxp］を順にクリックして、［OK］ボタンをクリックします。
⑤［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［続行］ボタンをクリックします。

⇒ボタンをクリック後、ファイルのコピーが開始されます。

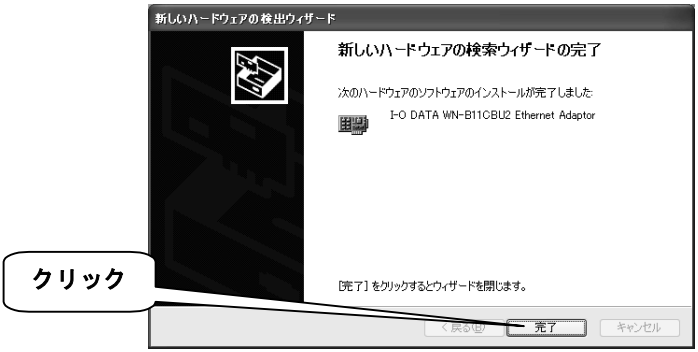


本製品は問題なくお使いいただけます

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。

マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

7 サポートソフトを取り出し、[完了] ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了しました。

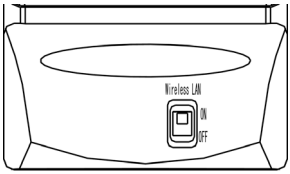
次に、正常にインストールされたかどうかの確認を行います。

【インストール後の確認】（６６ページ）へ進んでください。

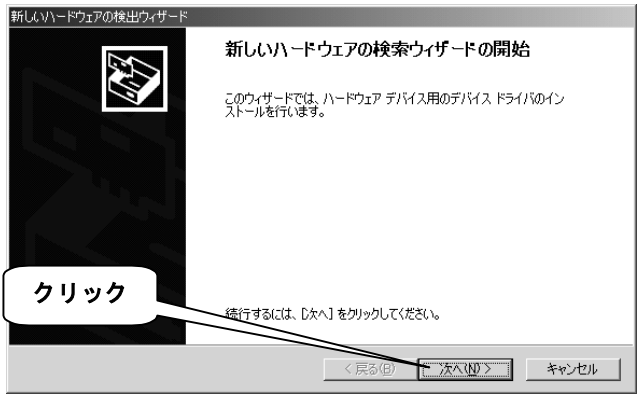
●Windows 2000 をお使いの場合

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 本製品の無線LANスイッチを［ON］にします。



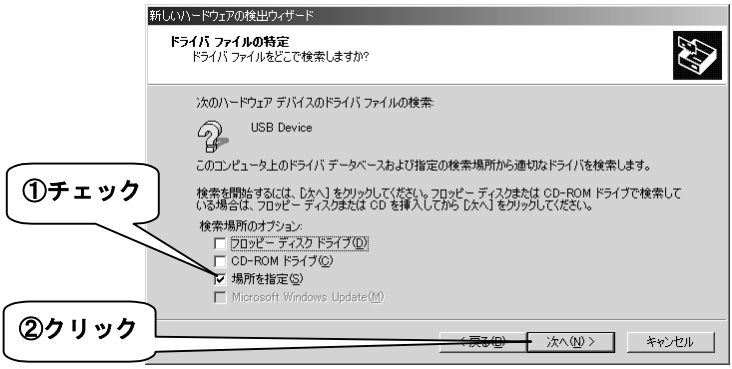
3 ［次へ］ボタンをクリックします。



4 [デバイスに…]にチェックし[次へ]ボタンをクリックします。

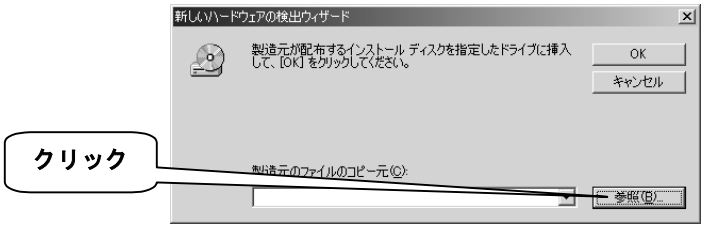


5 **[場所を指定]のみにチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。**
他のチェックは外してください。



6 **「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。**

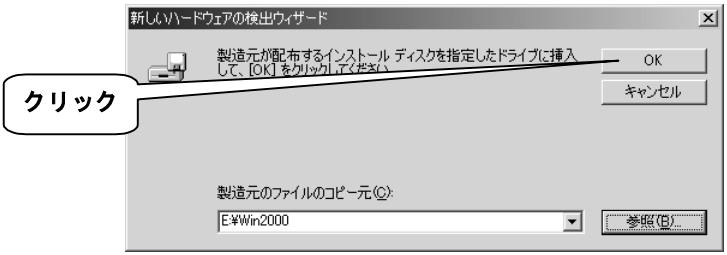
7 **［参照］ボタンをクリックします。**



8 [WIN2000]フォルダを指定し、[開く]ボタンをクリックします。



9 [OK]ボタンをクリックします。

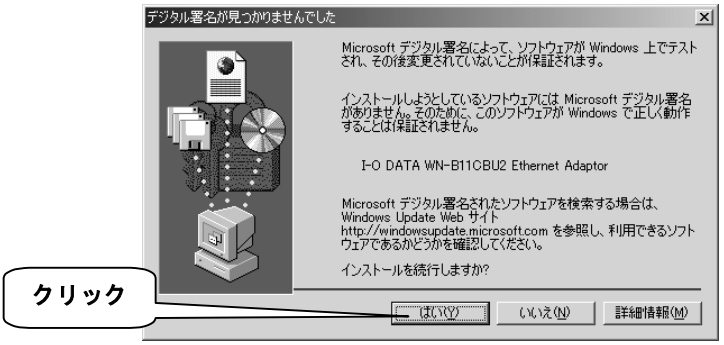


10 [次へ]ボタンをクリックします。



11 [はい]ボタンをクリックします。

ボタンをクリック後、ファイルのコピーを開始します。



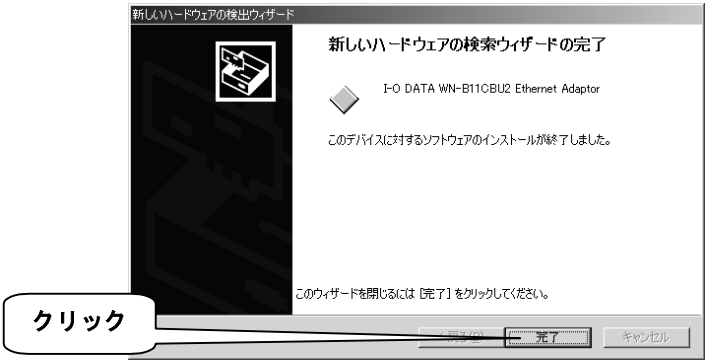
参考

本製品は問題なくお使いいただけます

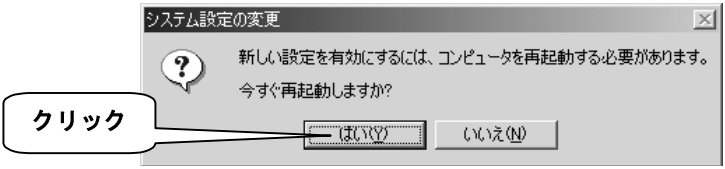
弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、そのまま続行します。

マイクロソフト社は、WHQL という組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

12 **[完了]ボタンをクリックします。**



13 **[はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。**

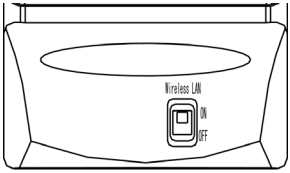


以上で無線 LAN ドライバのインストールは完了しました。
次に、設定ユーティリティのインストールを行います。
【設定ユーティリティのインストール】（６４ページ）へ進んでください。

●Windows Me/98 をお使いの場合

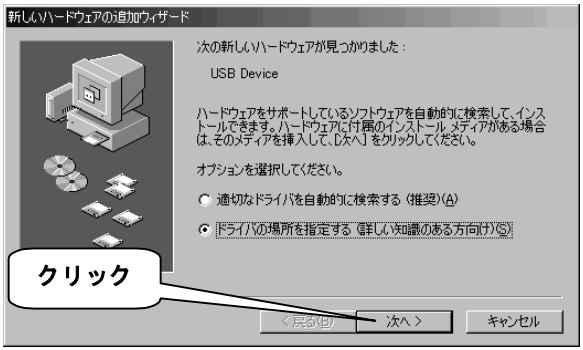
1 Windowsを起動します。

2 本製品の無線LANスイッチを［ON］にします。

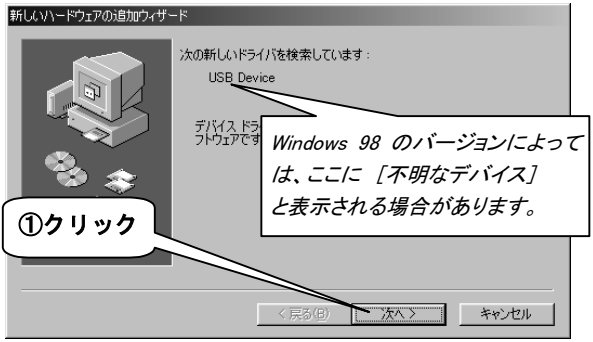


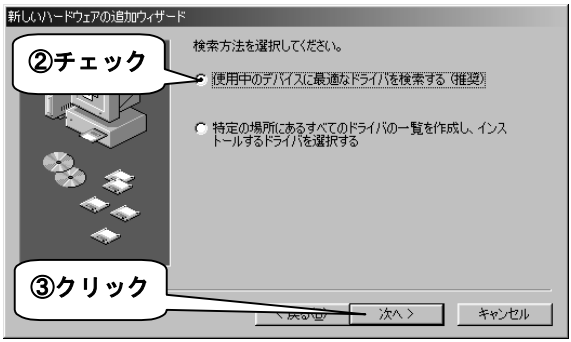
3 ［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Me の場合　［ドライバの場所を…］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



Windows 98 の場合　［次へ］ボタンをクリック→［使用中の…］にチェック→［次へ］ボタンをクリックします。

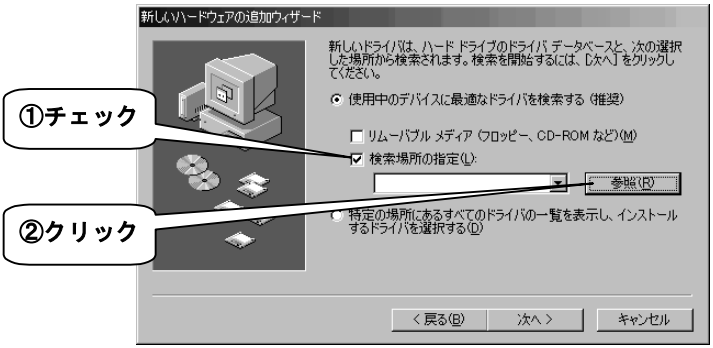




4 「サポートソフト」をCD-ROMドライブにセットします。

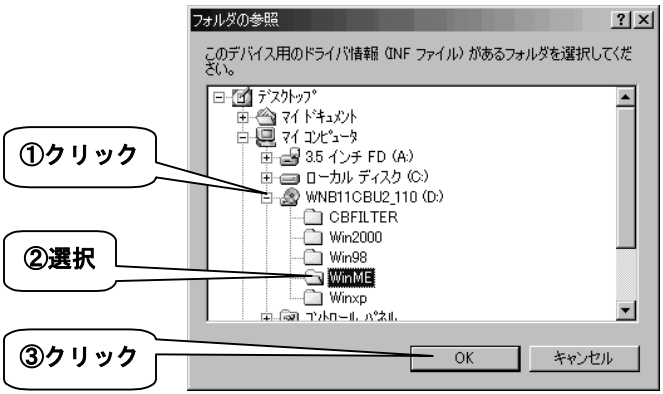
5 [検索場所の指定]にチェックし[参照]ボタンをクリックします。

[検索場所の指定]以外にはチェックしないでください。

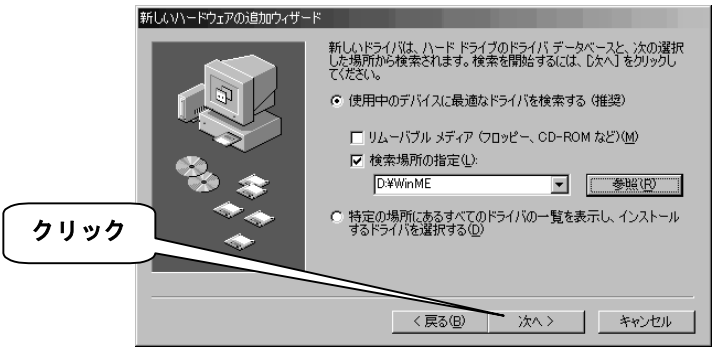


6 各OSのフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。

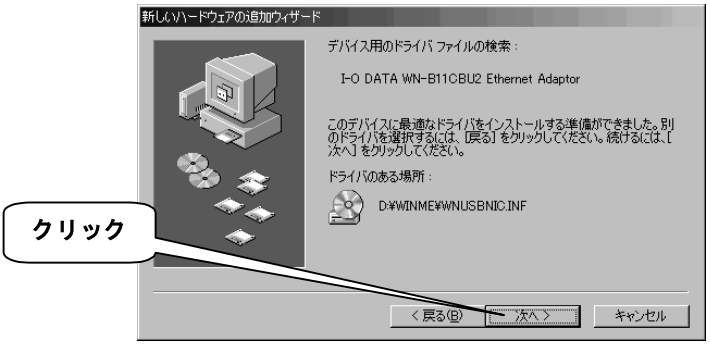
Windows Me の場合は［WinME］フォルダを
Windows 98 の場合は［Win98］フォルダを指定してください。
※画面は Windows Me のものです。



7 [次へ]ボタンをクリックします。

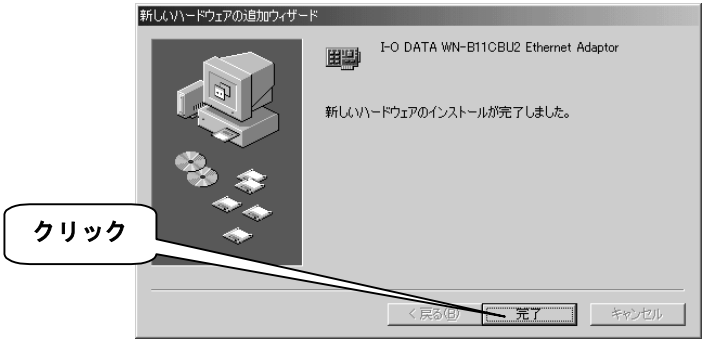


8 **[次へ]ボタンをクリックします。**



9 **[完了]ボタンをクリックします。**

→この後、他の画面が表示された場合は、以下の注意をご覧ください。



参考

[I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter]と表示されていない場合は

[戻る]ボタンをクリックして、手順*7*、*8*の画面（検索場所の指定でCD-ROMドライブのフォルダが、[WinME] か [Win98] を指定していること）を確認してください。

［ファイルのコピー］画面について

［ファイルのコピー］画面が表示される場合があります。

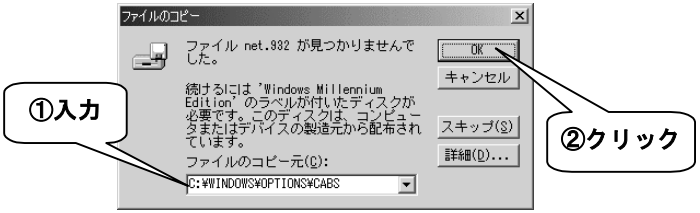
●お使いのパソコンがWindows Me/98プリインストールモデルの場合

→①［ファイルのコピー元］欄を以下のように指定します。

［C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS］

（Windows Me/98がインストールされているドライブがCドライブの場合の例）

②［OK］ボタンをクリックします。



●他のWindowsからアップグレードインストールした場合（CD-ROMからWindows Meをインストールした場合）

→①［ファイルのコピー元］欄を以下のように指定します。

［C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL］

（Windows MeがインストールされているドライブがCドライブの場合の例）

②［OK］ボタンをクリックします。



「Windows 98 CD-ROM」を要求された場合は…

①「Windows 98 CD-ROM」（または「Windows 98 Second Edition CD-ROM」）を CD-ROMドライブにセットします。

②[OK]ボタンをクリックします。

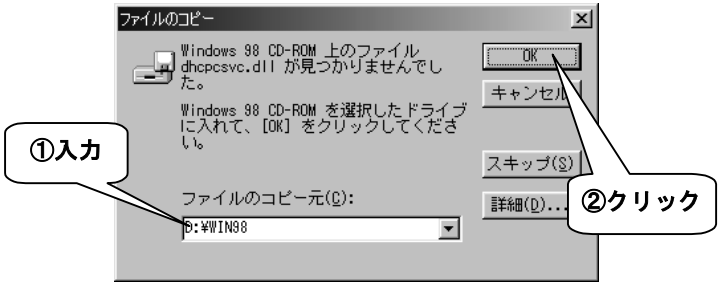


さらに、以下の画面が表示された場合は…

①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。

[D:¥WIN98]（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

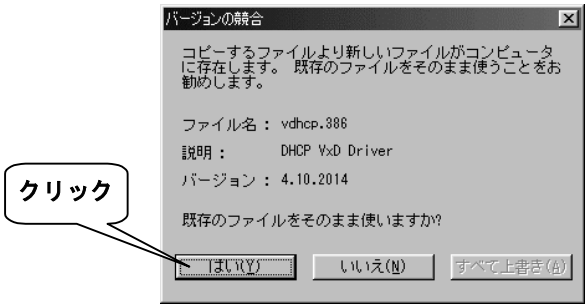
②[OK]ボタンをクリックします。



［バージョンの競合］画面が表示された場合は

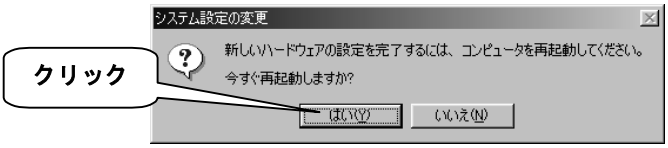
［はい］ボタンをクリックします。

※複数の［バージョンの競合］画面が表示された場合は、すべて［はい］ボタンをクリックしてください。



10 **[はい]ボタンをクリックします。**

⇒パソコンが再起動されます



以上で無線 LAN ドライバのインストールは完了しました。

次に、設定ユーティリティのインストールを行います。

【設定ユーティリティのインストール】（６４ページ）へ進んでください。

設定ユーティリティのインストール

無線 LAN の設定をするための「設定ユーティリティ」をインストールします。

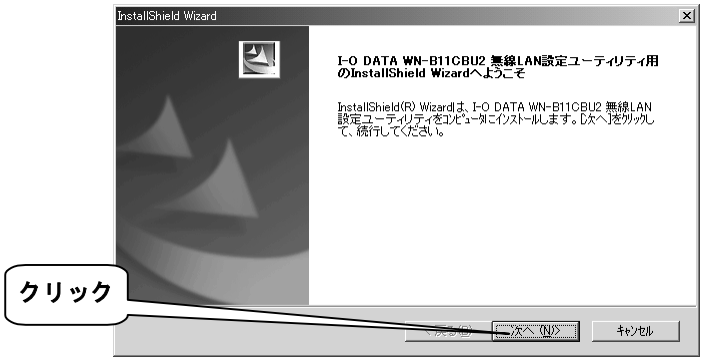
参考

Windows XPをお使いの方は
設定ユーティリティをインストールする必要はありませんので、【インストール後の確認】（６６ページ）へお進みください。

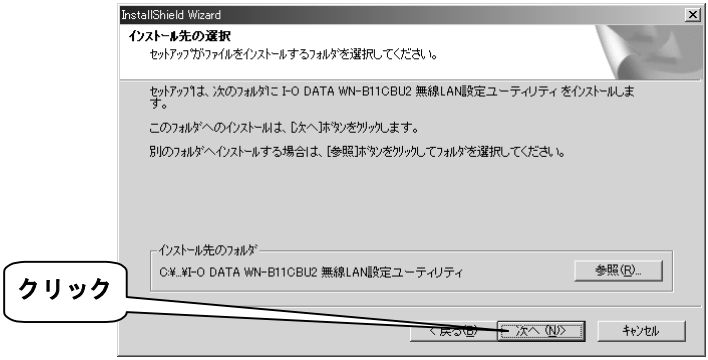
1 CD-ROM内の[Setup]をダブルクリックします。

［マイコンピュータ］→［CD-ROM］→［Setup］の順にダブルクリックします。

2 [次へ]ボタンをクリックします。



3 [次へ]ボタンをクリックします。



4 [完了]ボタンをクリックします。



以上でインストールは完了しました。
次に、正常にインストールされたかどうかの確認を行います。
【インストール後の確認】（６６ページ）へ進んでください。

インストール後の確認

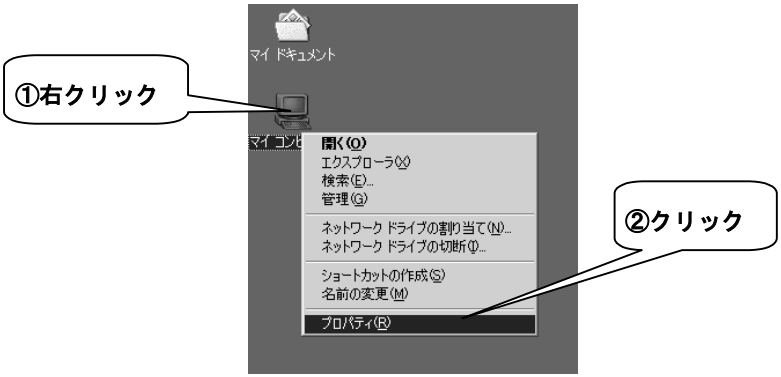
ここでは、正常にインストールされているか確認をします。

1 ［システムのプロパティ］を開きます。

Windows XPの場合　［スタート］→［マイコンピュータ］（右クリック）→［プロパティ］をクリックします。



Windows 2000/Me/98の場合　［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリックします。

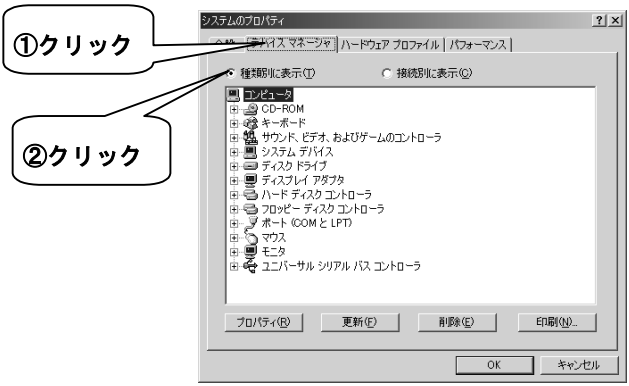


2 ［デバイスマネージャ］を開きます。

Windows XP/2000の場合　[ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]ボタン→［表示］→［デバイス（種類別）］を順にクリックします。



Windows Me/98 の場合　[デバイスマネージャ]タブ→[種類別に表示]を順にクリックします。



3 [デバイス]が表示されていることを確認します。

①下記の場所をダブルクリックします。

Windows XP/2000 の場合　[USB（Universal Serial Bus）コントローラ]

Windows Me/98 の場合　[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]

②以下を確認します。

弊社製サポートソフトを使用しない場合

・[NEC PCI to USB Enhanced Host Controller (I-O DATA)]

・[NEC PCI to USB Open Host Controller]（2つ）

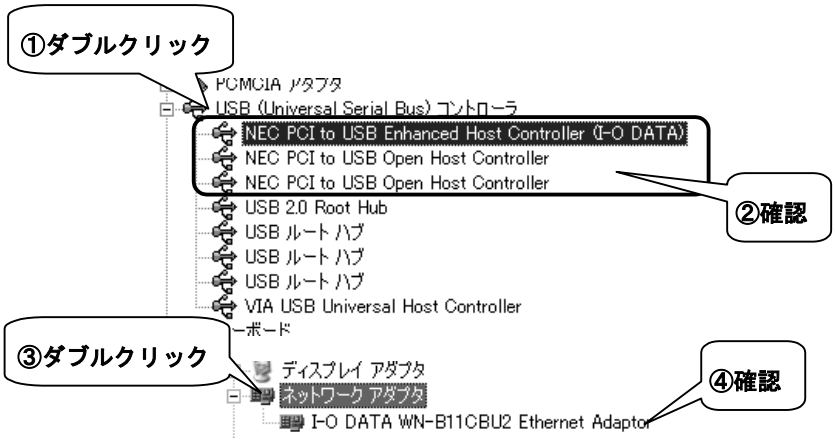
弊社製サポートソフトを使用した場合

・[I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller]

・[NEC PCI to USB Open Host Controller]（2つ）

③[ネットワークアダプタ]をダブルクリックします。

④[I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter]が表示されていることを確認します。



デバイスが表示されない場合は

【困ったときには】の【[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter]が表示されない】（１３３ページ）を参照してください。

4 画面を閉じます。

画面右上の[×]ボタンをクリックして、画面を閉じます。



以上で、無線LANアダプタとUSBポートが使えるようになりました。
１度インストールを行えば､今後は本製品を接続するだけで使えるようになります。

無線 LAN を使いたい方は【無線 LAN を使ってみよう】（７０ページ）へ。
無線 LAN を使わない方は【基本操作】（１０２ページ）へ。

無線 LAN を使ってみよう

アクセスポイントと通信する ・・・・・・・・・・・・・・ ７１
アクセスポイントとの通信方法を説明します。

無線 LAN アダプタのみで通信する ・・・・・・・・・・・・・・ ７９
無線 LAN アダプタのみでの通信方法を説明します。

ファイルを共有する ・・・・・・・・・・・・・・ ８９
ファイルの共有方法を説明します。

アクセスポイントと通信する

アクセスポイントの設置

無線 LAN アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントを次のように設置しておいてください。

参考

無線LANアダプタのみで通信する場合は

無線LANアダプタのみで通信する「アドホックモード」で使用する場合は、【無線LANアダプタのみで通信する】（７９ページ）をご覧ください。

1 アクセスポイントの電源を入れた状態で設置します。

アクセスポイントの設置方法については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

2 アクセスポイントの「SS ID」（ESS ID）をメモします。

アクセスポイント取扱説明書をご覧になり、下に書き込んでください。

▼確認したSS ID(ESS ID)を記入してください。

SS ID(ESS ID)	

3 アクセスポイントの[暗号キー]をご確認ください。

アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
暗号化されている場合は暗号キーをメモしてください。
※暗号キーは【暗号化する】（１１３ページ）で使用します。

▼確認した暗号キーを記入してください。

暗号キー	

参考

SS IDとは

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SS IDが一致していないと、そのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SS IDがESS IDと記載されている場合もあります。

以上で、設置は完了です。
次にアクセスポイントと通信するための設定をします。

通信設定

【アクセスポイントの設置】（７１ページ）で設置したアクセスポイントと通信するための設定をします。

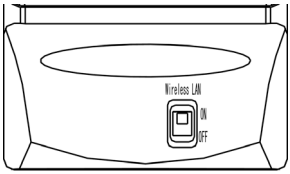
ご使用の Windows によって設定方法が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP をお使いの場合	下記
Windows 2000/Me/98 をお使いの場合	７６ページ

参考

無線LANスイッチの確認

はじめに、本製品の無線LANスイッチが［ON］になっていることを確認してください。



●Windows XP をお使いの場合

1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。
コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

3 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

4 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

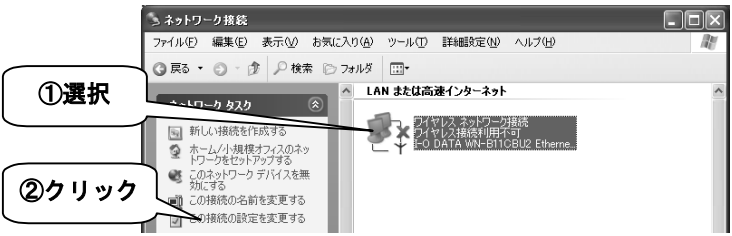


5 ［ネットワーク接続］をクリックします。



6 設定を変更します。

[インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを選択し、[この接続の設定を変更する]をクリックします。

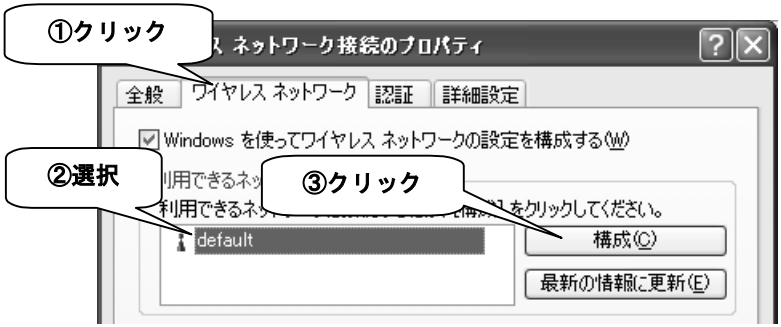


参考

「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されない場合は
【困ったときには】の【ワイヤレスネットワーク接続が表示されない】（１３３ページ）を参照してください。

7 通信するネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。
②[利用できるネットワーク]で【アクセスポイントの設置】（７１ページ）で確認した SS ID を選択します。
③[構成]ボタンをクリックします。



画面は SS ID が［default］の例です

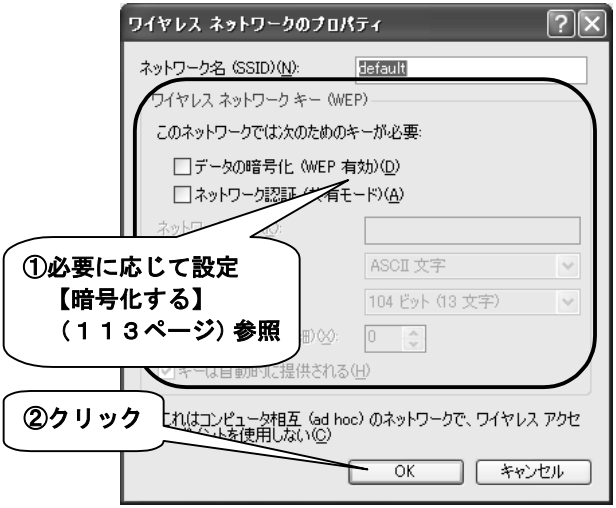
参考

SS IDが表示されない場合は
・［最新の状態に更新］ボタンをクリックしてみてください。
・【［利用できるネットワーク］に確認したSS IDが表示されない】（１３５ページ）を参照してください。

8 必要に応じて暗号化設定をします。

【暗号化する】（１１３ページ）を参照して暗号化設定をして、［OK］ボタンをクリックします。

暗号化しない場合は、そのまま［OK］ボタンをクリックします。



参考

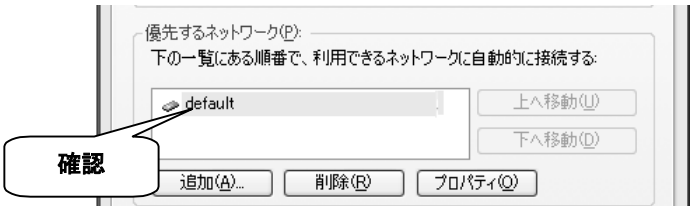
Windows XP Service Pack 1で暗号化を設定する場合は84ページ参照

Windows XPとWindows XP ServicePack1では、画面や設定が一部異なります。Windows XP ServicePack1の場合は、84ページを参照してください。

また、別のOSと暗号化通信する場合は、【別OS間（別バージョンOS間）で暗号化通信する場合は】（１１６ページ）も参照してください。

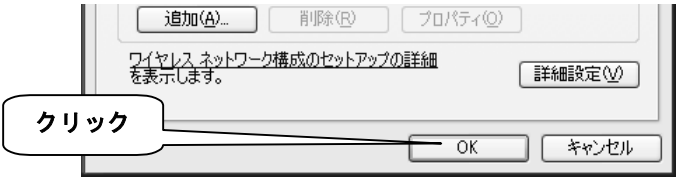
9 追加したSS IDが表示されていることを確認します。

［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］画面の［優先するネットワーク］を確認します。



10 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］へ戻ります。



以上で設定は完了しました。

ファイルを共有する場合は【ファイルを共有する】（８９ページ）へ。

ファイルを共有しない場合は【基本操作】（１０２ページ）へ。

●Windows 2000/Me/98 をお使いの場合

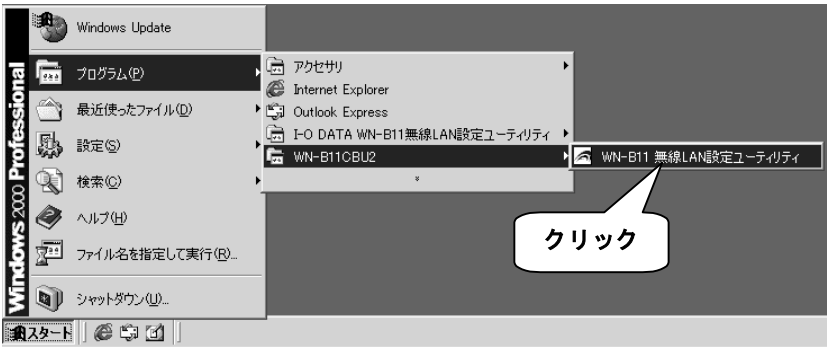
1 アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

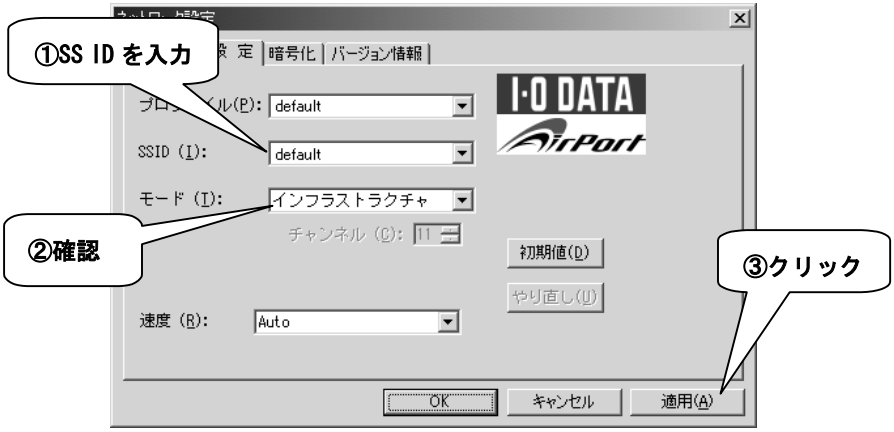
3 設定ユーティリティを起動します。

[スタート]→[プログラム]→［WN-B11CBU2］→[WN-B11 無線 LAN 設定ユーティリティ]を順にクリックします。



4 各設定をします。

①［設定］タブで、【アクセスポイントの設置】（７１ページ）で確認した SS ID を入力。
②［モード］が［インフラストラクチャ］であることを確認。
③［適用］ボタンをクリック。

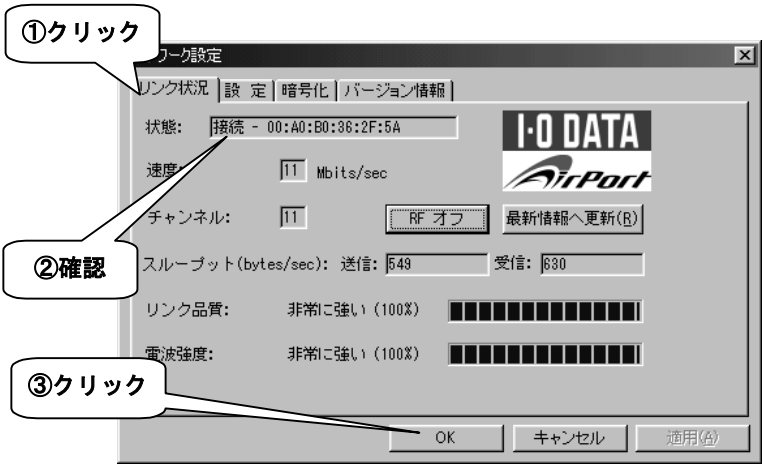


参考

その他の設定
手順4では、必要に応じて[プロファイル]や[暗合化]の設定もします。
詳しくは、【設定ユーティリティについて】（１０９ページ）をご覧ください。

5 正常に通信できていることを確認します。

①[リンク状況]タブをクリックします。
②正常に通信できている場合、[リンク状況]タブで［状態］が“接続. . .”と表示されます。
③確認後、［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



以上で設定は完了しました。
ファイルを共有する場合は【ファイルを共有する】（８９ページ）へ。
ファイルを共有しない場合は【基本操作】（１０２ページ）へ。

無線 LAN アダプタのみで通信する

本製品を使えるようにするには、以下の作業が必要です。手順にしたがって準備しましょう。

参考

アクセスポイントを設置する場合は
インターネットに接続する場合は、アクセスポイントを設置する必要があります。【アクセスポイントの設置】（７１ページ）を参照してください。

使用環境を確認する

本製品を使用するには、SS ID を決める必要があります。

1 本製品を使用する環境を、以下から選び、チェックを付けます。

□ 新たにネットワークを構築する（１台目の導入）	□ 既存のネットワークで使用する（追加導入）
2 SS ID（ESS ID）を決めます。 任意のSS ID（ESS ID）とチャンネルを決め、下に書き込んでください。 （SS IDは、半角英数字32文字以内で設定します。大文字、小文字の区別もあります。）	**ネットワーク管理者にSS ID（ESS ID）をご確認ください。** 確認したSS ID（ESS ID）とチャンネルを下に書き込んでください。

▼決めた(確認した)SS ID(ESS ID)を記入してください。

※SS ID(ESS ID)は【アドホックの設定をする】（８０ページ）で使用します。

SS ID(ESS ID)	

▼決めた(確認した)チャンネルを記入してください。

チャンネル（１～14)	

参考

SS IDとは
複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SS IDがESS IDと記載されている場合もあります。

アドホックの設定をする

無線 LAN アダプタのみで通信する（アドホックモード）ための設定をします。

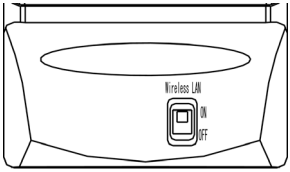
複数の無線LANグループがある場合は
それぞれのネットワークで別々の通信チャンネルの値（ユーティリティで設定する［チャンネル］の値）を設定してください。
（電波の干渉を防ぐため５チャンネル分間隔を空けることをおすすめします。推奨チャンネル設定「1　6　11　14」）
通信チャンネルの値が他の無線LANグループと重なると、他の無線LANグループに通信の内容が流れる、あるいは他の無線LANグループの通信が来てしまいます。そのために起こったトラブルに対しては弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

弊社製WN-B11/PCMとアドホックで通信する場合は
設定ユーティリティのバージョンが1.03以前の場合は、WN-B11/PCMの[モード]を[802.11 Ad hoc]に設定してください。

ご使用の Windows によって設定方法が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP をお使いの場合	下記
Windows 2000/Me/98 をお使いの場合	８６ページ

無線LANスイッチの確認
はじめに、本製品の無線LANスイッチが［ON］になっていることを確認してください。



●Windows XP をお使いの場合

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。
コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

3 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。



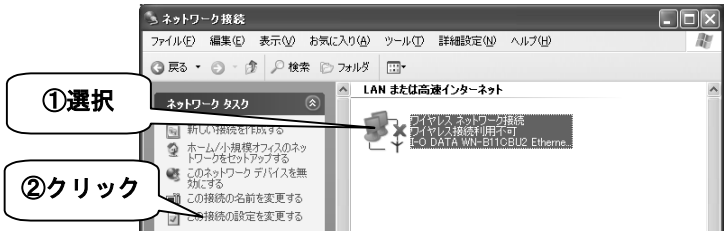
4 [ネットワーク接続]をクリックします。



5 設定を変更します。

インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを選択し、[この接続の設定を変更する]をクリックします。

※Windows XP Service Pack 1では画面が一部異なりますが、手順は同様です。

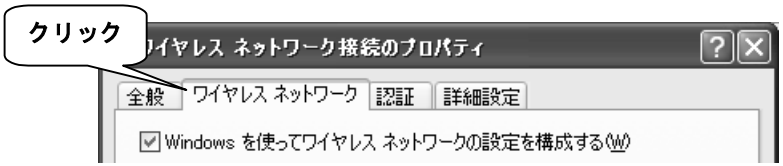


参考

「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されない場合は

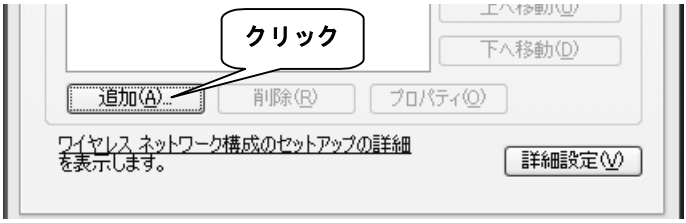
【困ったときには】の【ワイヤレスネットワーク接続が表示されない】（１３３ページ）を参照してください。

6 [ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。



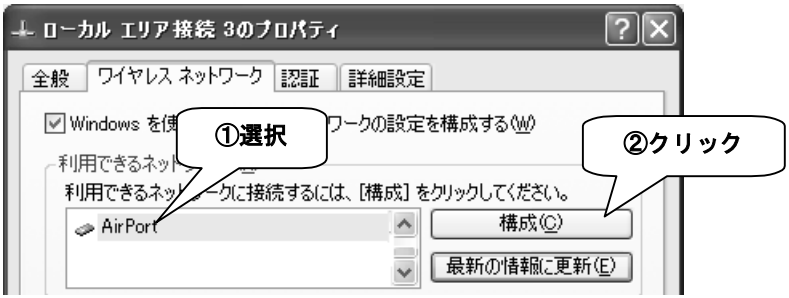
7 端末を導入します。

１台目導入の場合　［追加］ボタンをクリックします。



追加導入の場合　①［利用できるネットワーク］にて【使用環境を確認する】（７９ページ）で確認したSS IDを選択します。

②［構成］ボタンをクリックします。



画面は、SS ID が[AirPort]の例です。

参考

SS IDが表示されない場合は

・［最新の状態に更新］ボタンをクリックしてみてください。

・【［利用できるネットワーク］に確認したSS IDが表示されない】（１３５ページ）を参照してください。

8 各設定をします。

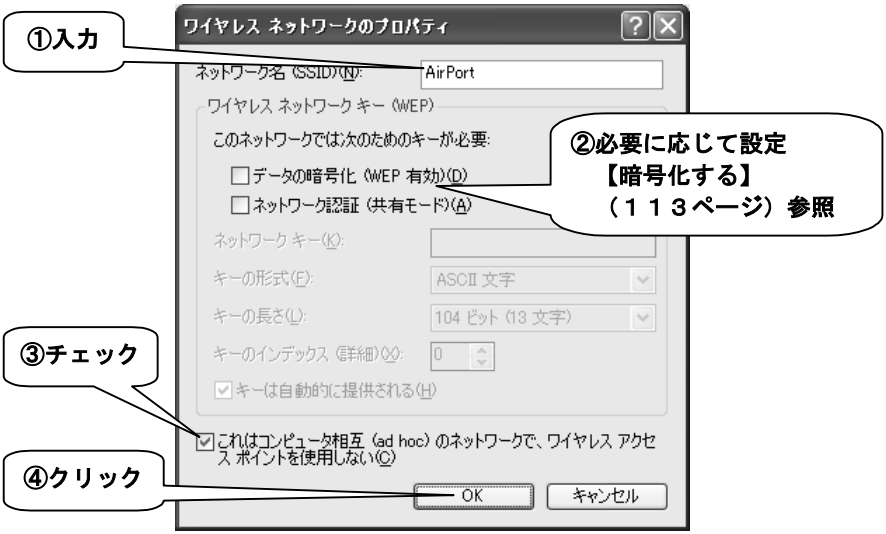
①１台目の導入の場合は、【使用環境を確認する】（７９ページ）で確認した SS ID（ESS ID）を入力します。

②必要に応じてワイヤレスネットワークキー（WEP）の設定をします。

③「これはコンピュータ相互SS ID（Ad hoc）…」にチェックを付けます。

④［OK］ボタンをクリックします。

※Windows XP Service Pack 1では次ページの画面・手順となります。



参考

Windows XP Service Pack 1で暗号化を設定する場合は次ページ参照

Windows XPとWindows XP ServicePack1では、画面や設定が一部異なります。
Windows XP ServicePack1の場合は、次ページを参照してください。
また、別のOSと暗号化通信する場合は、【別OS間（別バージョンOS間）で暗号化通信する場合は】（１１６ページ）も参照してください。

Windows XP Service Pack 1では以下の画面・手順となります。

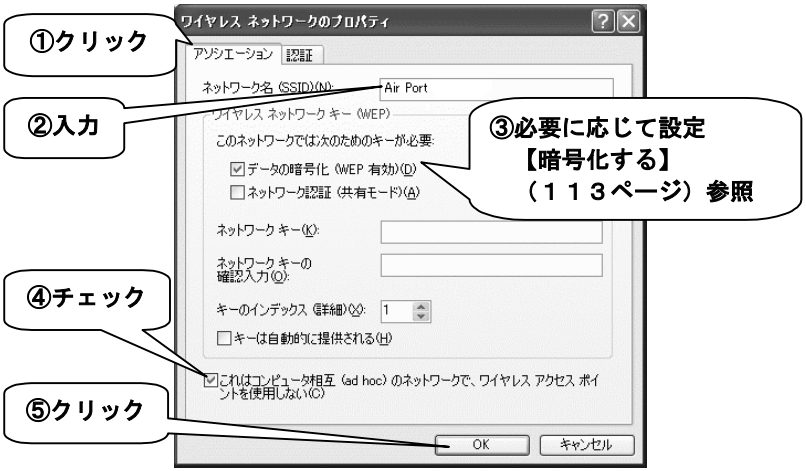
①［アソシエーション］タブをクリックします。

②１台目の導入の場合は、【使用環境を確認する】（７９ページ）で確認したSS ID(ESS ID)を入力します。

③必要に応じて暗号化（WEP）の設定をします。

④「これはコンピュータ相互（ad hoc）…」にチェックを付けます。

⑤［OK］ボタンをクリックします。



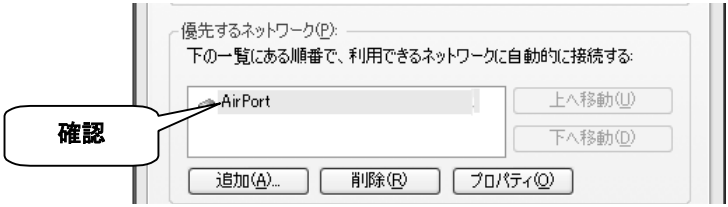
参考

Windows XPで暗号化を設定する場合は前ページ参照

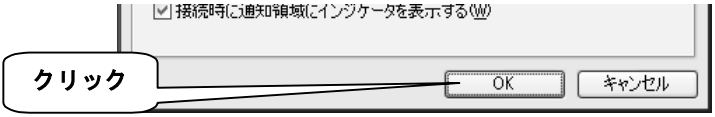
Windows XPとWindows XP ServicePack1では、画面や設定が一部異なります。
Windows XPの場合は、前ページを参照してください。
また、別のOSと暗号化通信する場合は、【別OS間（別バージョンOS間）で暗号化通信する場合は】（１１６ページ）も参照してください。

9 追加したSS IDが表示されていることを確認します。

［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］画面の、［優先するネットワーク］を確認します。



10 ［OK］ボタンをクリックします。



以上で設定は完了しました。２台目以降の設定も同様に行ってください。

ファイルを共有する場合は【ファイルを共有する】（８９ページ）へ。
ファイルを共有しない場合は【基本操作】（１０２ページ）へ。

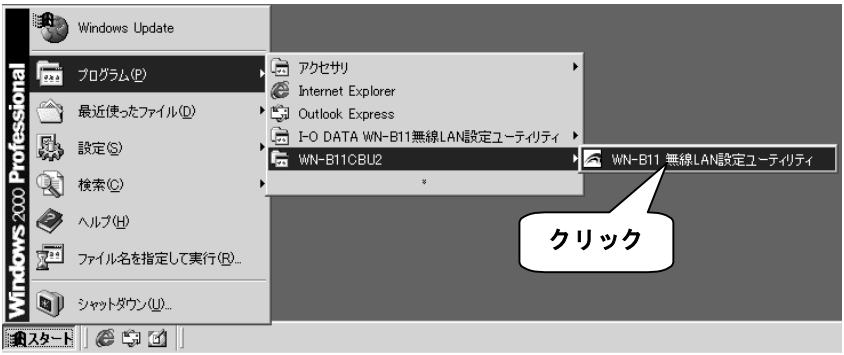
●Windows 2000/Me/98 をお使いの場合

1 本製品を装着したすべてのパソコンの電源を入れます。

コンピュータの管理者アカウントでログオンしてください。

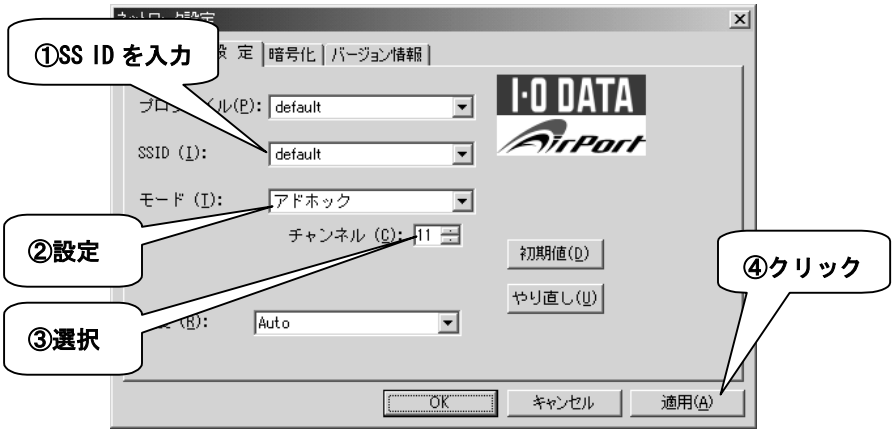
2 設定ユーティリティを起動します。

[スタート]→[プログラム]→ [WN-B11CBU2] →[WN-B11無線LAN設定ユーティリティ]を順にクリックします。



3 各設定をします。

①［設定］タブで、【使用環境を確認する】（７９ページ）で確認した SS IDを入力。
②［モード］を［アドホック］に設定。
③［チャンネル］で、【使用環境を確認する】（７９ページ）でメモしたチャンネルを選択します。
④［適用］ボタンをクリック。



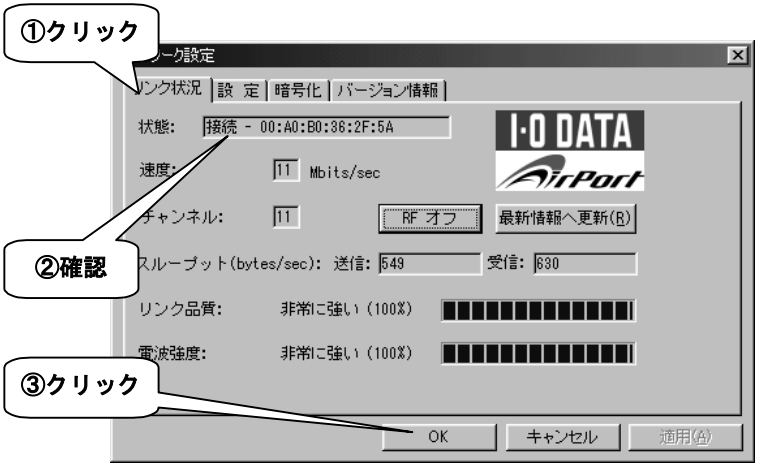
参考

その他の設定
上記画面で必要に応じて[プロファイル]の設定や[暗号化]タブの画面で[暗合化]の設定もします。
詳しくは、【設定ユーティリティについて】（１０９ページ）をご覧ください。

4 正常に通信できていることを確認します。

①[リンク状況]タブをクリックします。

②正常に通信できている場合、[リンク状況]タブで［状態］が“接続. . .”と表示されます。
確認後、［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



以上で設定は完了しました。２台目以降の設定も同様に行ってください。

ファイルを共有する場合は【ファイルを共有する】（８９ページ）へ。
ファイルを共有しない場合は【基本操作】（１０２ページ）へ。

ファイルを共有する

ここでは、LAN 内でファイルを共有するときの設定例を説明します。

注意

設定するプロトコルについて
本書では、設定するプロトコルとして［TCP/IP］についてのみ説明しています。他のプロトコルについては、ネットワーク管理者にご確認ください。

サポートについて
弊社では、本製品が正しく動作し、ファイルやプリンタの共有が確認できるまでをサポート範囲としております。

IP アドレスを確認する

ネットワーク上のすべてのパソコンには別々の IP アドレスが必要です。
ここでは、お使いのパソコンに設定する IP アドレスを確認します。

●確認した IP アドレスを記入してください

参考

ネットワーク管理者にIPアドレスをご確認ください。
確認したIPアドレスを下に書き込んでください。
（詳しくは、【IPアドレスの設定例】（１２６ページ）、【IPアドレスのクラス】（１２７ページ）をご覧ください。）

▼確認した(決めた)IPアドレスを記入してください。

IP アドレス	. . .

参考

ネットワーク内にDHCPサーバがある場合
弊社製WN-B11/BBRHなどをDHCPサーバとしてご利用になっている場合は、各パソコンでIPアドレスを自動取得にする必要があります。
その場合は上記のIPアドレスを記入する必要はありません。次ページ以降の手順でIPアドレスを自動取得に設定してください。

IP アドレスを確認したら、【ファイルを共有する】（９０ページ）へお進みください。

ファイルを共有する

ご使用のWindowsによって設定方法が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP/2000をお使いの場合	下記
Windows Me/98をお使いの場合	９６ページ

●Windows XP/2000をお使いの場合

ネットワーク接続(ローカルエリア接続)の設定を変更します。

Windows XPの場合

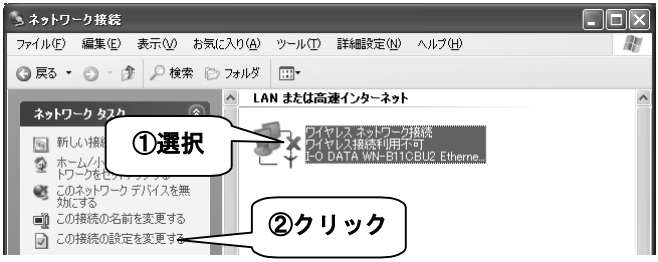
①[スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

②[ネットワークとインターネット接続]→[ネットワーク接続]をクリックします。





③[ネットワーク接続]では、インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。



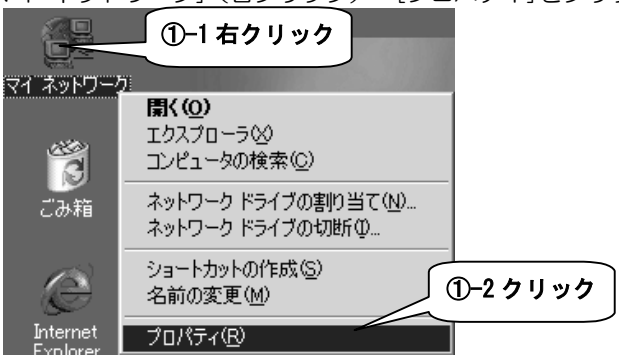
参考

ワイヤレスネットワーク接続が表示されない場合は…

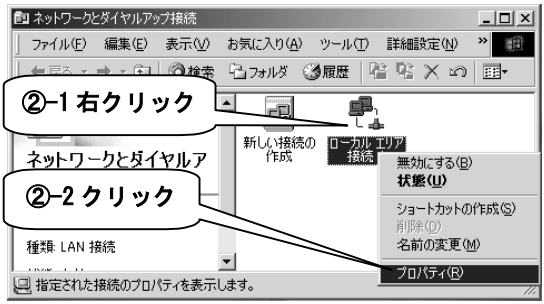
【困ったときは】の【ワイヤレスネットワーク接続が表示されない】（１３３ページ）をご覧ください。

Windows 2000の場合

①[マイ ネットワーク]（右クリック）→[プロパティ]をクリックします。

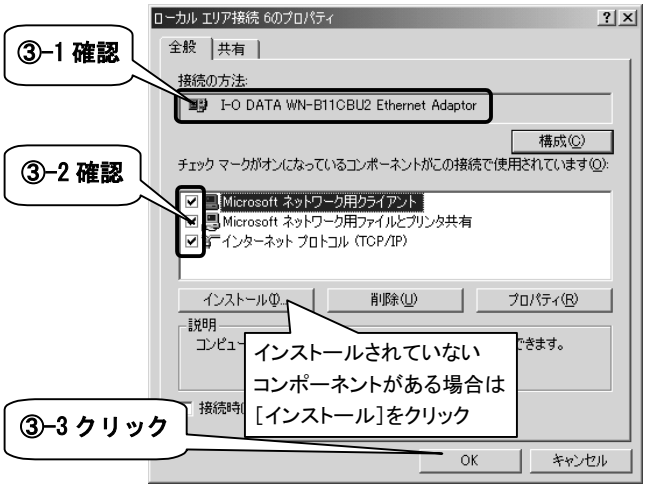


②[ローカルエリア接続]（右クリック）→[プロパティ]をクリックします。



③以下が表示され、チェックされていることを確認します。

- ［I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter］の表示
- ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］のチェック
- ［Microsoftネットワーク用クライアント］のチェック
- ［Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有］のチェック
- 確認後［OK］ボタンをクリックします。



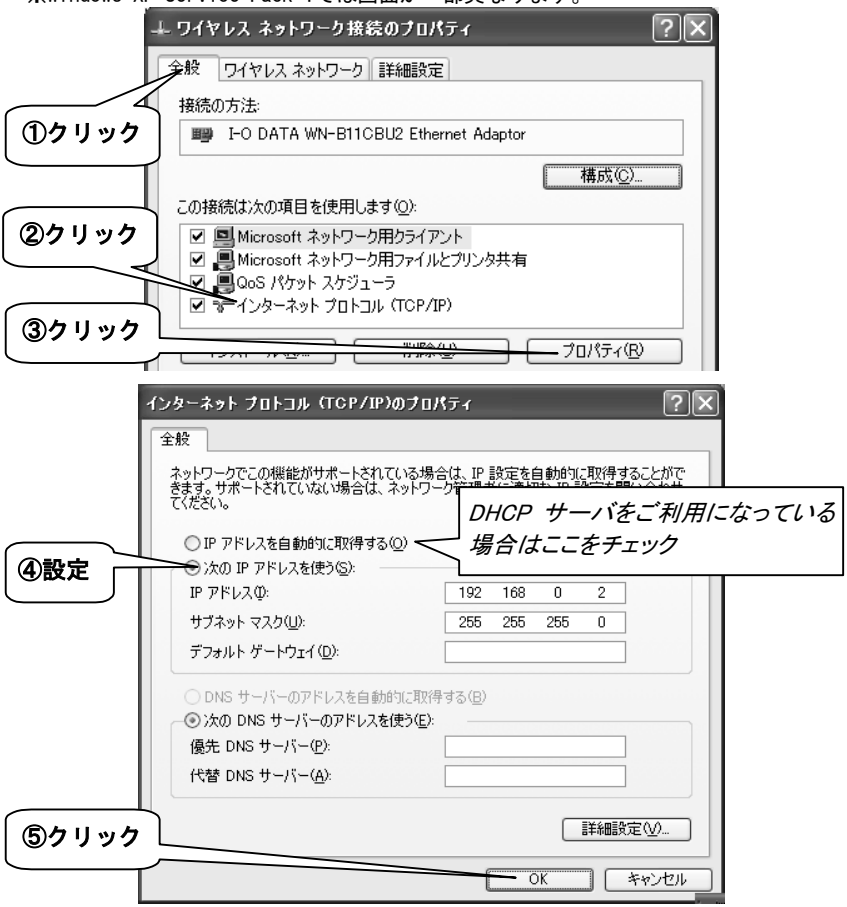
2 IPアドレスを設定します。

①［全般］タブをクリックします。（Windows XPのみ）
②［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリックします。
③［プロパティ］ボタンをクリックします。
④【IPアドレスを確認する】（８９ページ）で確認したIPアドレスを入力します。

※DHCPサーバをご利用になっている場合は、[IPアドレスを自動的に取得する]をチェックしてください。(IPアドレスの入力は必要ありません。)

⑤設定後、［OK］ボタンをクリックします。
⑥［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。（Windows XPのみ）

※Windows XP Service Pack 1では画面が一部異なります。



3 [詳細設定]メニューの[ネットワークID]をクリックします。



4 以下のことを確認してください。

［フル コンピュータ名］

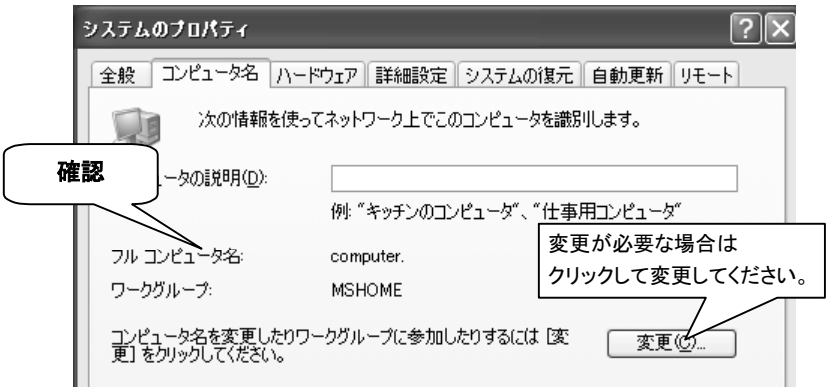
［ワークグループ］

フル コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、[変更]ボタンをクリックして、変更してください。

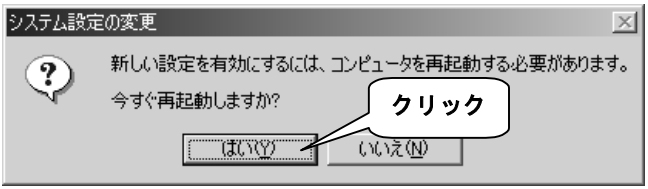
（Windows 2000の場合は［プロパティ］ボタンとなっています）



参考

Windows 2000をお使いの方は

再起動画面が表示された場合は［はい］ボタンをクリックしてパソコンを再起動してください。

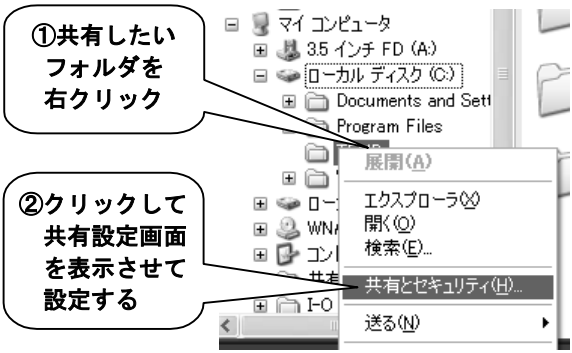


5 共有の設定をします。

このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をする必要があります。

詳細はWindowsのヘルプを参照してください。

例：エクスプローラ上からの共有の設定



6 他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等を確認します。

［マイネットワーク］→［近くのコンピュータ］を順にダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名等が表示されます。

参考

他のコンピュータ名が表示されない場合は…

【困ったときには】の【［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない】（１３４ページ）をご覧ください。

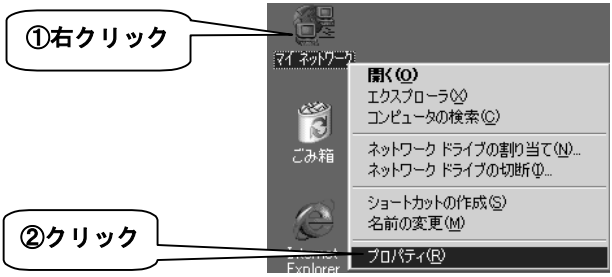
以上で、設定は完了です。次は基本操作の説明をします。

【基本操作】（１０２ページ）へお進みください。

●Windows Me/98 をお使いの場合

1 [マイ ネットワーク]の[プロパティ]を開きます。

[マイ ネットワーク]（ネットワークコンピュータ）を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

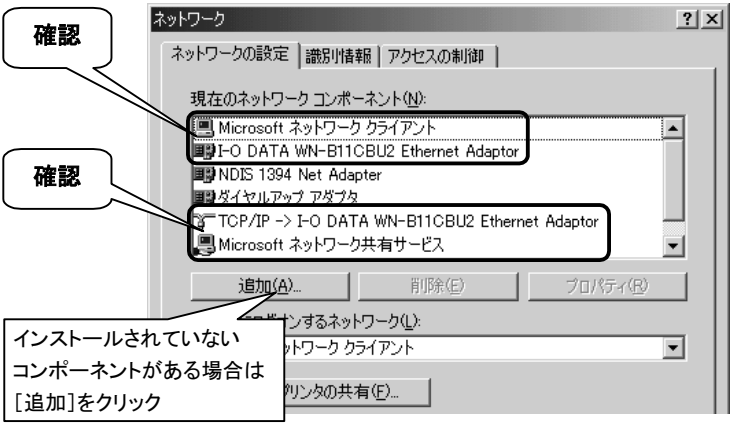


2 以下（のコンポーネント）が表示されているかを確認します。

- [Microsoftネットワーククライアント]
- [I-O DATA WN-B11/CBU2 Ethernet Adapter]
- [TCP/IP]

  ※[TCP/IP]と表示されずに、[TCP/IP->I-O DATA WN-B11/CBU2 Ethernet Adapter]と表示されている場合もあります。

- [Microsoftネットワーク共有サービス]



参考

[I-O DATA WN-B11CBU2 ……]が表示されない場合は…

【困ったときには】の【[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter] が表示されない】（１３３ページ）をご覧ください。

3 IPアドレスを設定します。

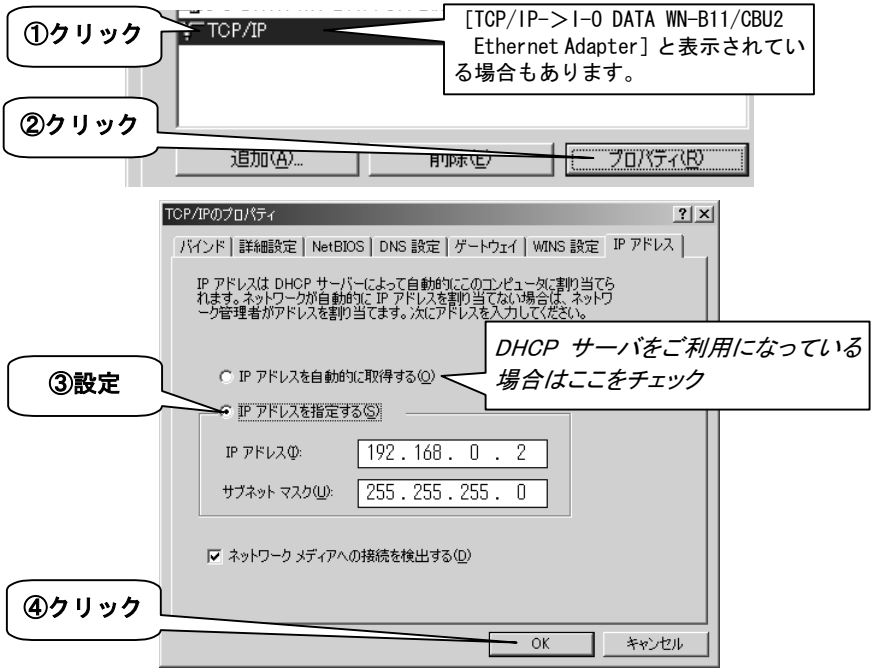
①［TCP/IP］（あるいは［TCP/IP->I-O DATA WN-B11/CBU2 Ethernet Adapter］）をクリックします。

②［プロパティ］ボタンをクリックします。

③【IPアドレスを確認する】（８９ページ）で確認したIPアドレスを入力します。

※DHCPサーバをご利用になっている場合は、[IPアドレスを自動的に取得する]をチェックしてください。(IPアドレスの入力は必要ありません。)

④［OK］ボタンをクリックします。



参考

［TCP/IP－>I-O DATA WN-B11/CBU2 …］の表示が無い場合は…

【困ったときには】の【［ネットワーク］画面に、［TCP/IP－>xxxxxxxx]は複数表示されているのに、［TCP/IP－>I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter］が表示されていない】（１３２ページ）をご覧ください。

4 共有の設定をします。

このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックし、共有したい項目をチェックします。チェック後、［OK］ボタンをクリックします。



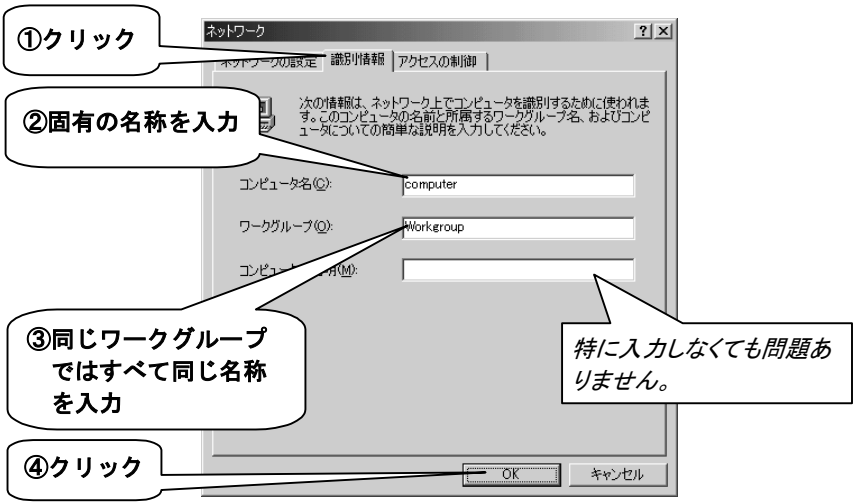
5 ［コンピュータ名］と［ワークグループ］を入力します。

［識別情報］タブをクリックして、［コンピュータ名］と［ワークグループ］に以下を入力し、［OK］ボタンをクリックしてください。

コンピュータ名	ネットワーク上のそれぞれのパソコンを識別するための名前。（それぞれのパソコンで別々な固有の名前を設定します。）※
ワークグループ	ネットワーク上でグループ分けするための名前。（同じグループではすべて同じグループ名を指定します。）※ 本製品を使って接続する同一ネットワーク上のすべてのパソコンで同じものを指定してください。

※相手のコンピュータが見えない等のトラブルを未然に防ぐため、半角英数字の使用をおすすめします。

変更が必要な場合は、［変更］ボタンをクリックして、変更してください。



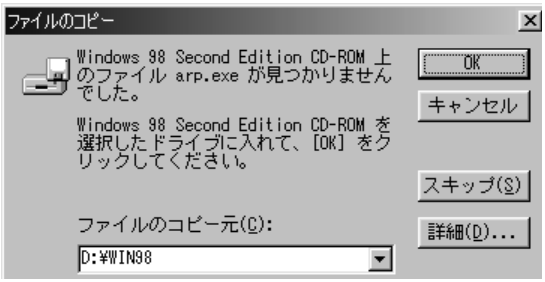
参考

以下の画面が表示された場合は



①WindowsのCD-ROMを挿入します。
②［OK］ボタンをクリックします。

さらに以下の画面が表示された場合は



［ファイルのコピー元］に以下を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

・Windows 98をご自分でインストールした場合
　D:¥WIN98(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
・Windows 98プリインストールパソコンをお使いの場合
　C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS
・他のWindowsからWindows Meへアップグレードインストールした場合（CD-ROMからWindows Meをインストールした場合）
　C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥INSTALL

注意

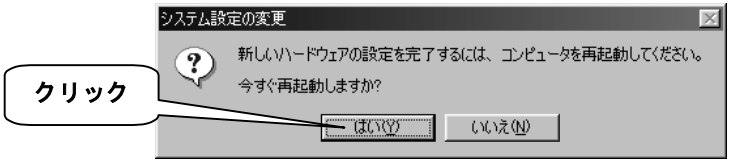
Windowsのアップグレードについて

以下のアップグレードをした場合は、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」は選択せず、CD-ROMドライブを参照してください。

・Windows 95プリインストールモデルを、Windows 98（Second Edition含む）へアップグレードした場合
・Windows 98プリインストールモデルをWindows 98 Second Editionへアップグレードした場合

6 [はい]ボタンをクリックします。

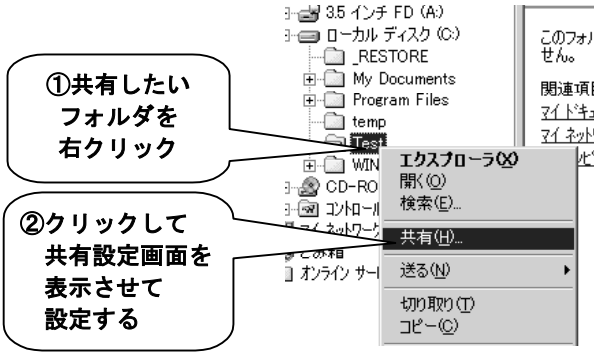
⇒パソコンが再起動されます。



7 共有の設定をします。

このパソコンにあるドライブやフォルダあるいはプリンタをネットワーク上の別のパソコンで使いたい（共有したい）場合は、共有の設定をします。（詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。）

（エクスプローラ上からの共有の設定）



8 他のコンピュータ名や共有したフォルダ名を確認します。

［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）をダブルクリックすれば、本製品を装着した他のコンピュータ名や共有したフォルダ名が表示されます。

参考

他のコンピュータ名が表示されない場合は…

【困ったときには】の【［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない】（１３４ページ）をご覧ください。

以上で、設定は完了です。次は基本操作の説明をします。
【基本操作】（１０２ページ）へお進みください。

基本操作

本製品の取り外し方 ・・・・・・・・・・・・ １０３
本製品の取り外し方を説明します。

無線 LAN スイッチ ・・・・・・・・・・・・ １０６
無線 LAN スイッチの操作を説明します。

USB 機器の使用 ・・・・・・・・・・・・ １０７
USB 機器の取り付け・取り外し方を説明します。

本製品の取り外し方

Windows 起動中に本製品を取り外す場合、ご使用の Windows によって取り外し方が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP/2000 をお使いの場合	下記
Windows Me/98 をお使いの場合	１０４ページ

注意

取り外しの際には

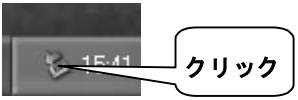
パソコンの電源を入れたまま（Windows起動中）本製品を取り外す場合は、必ず以下の作業を行ってください。行わない場合は、予期しない障害が発生する可能性があります。

以下の作業を行うと、実際に本製品を抜かなくてもPCカードの動作は終了したとみなされ、本製品は使えなくなります。再度使いたい場合は、いったん本製品を抜いてから再び差し込んでください。

Windows XP/2000 をお使いの場合

1 本製品にUSB機器が接続されていないことを確認します。

2 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。



3 表示された［NEC PCI to USB Enhanced Host Controller（I-O DATA）を安全に取り外します］をクリックします。



参考

弊社製サポートソフトを使用した場合は

［I-O DATA PCI to USB Enhanced Controllerを安全に取り外します］をクリックします。

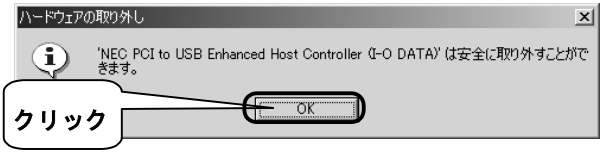
4 メッセージを確認します。

Windows XPの場合はメッセージを確認します。

Windows 2000の場合は[OK]ボタンをクリックします。



Windows XP の場合



Windows 2000 の場合

5 本製品をパソコンのPCカードスロットから取り外します。

以上で、本製品の取り外しは完了です。
再度本製品を取り付ける際は、そのまま挿入してください。

Windows Me/98 をお使いの場合

1 本製品にUSB機器が接続されていないことを確認します。

2 画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックします。



アイコンは間違えないようご注意ください。

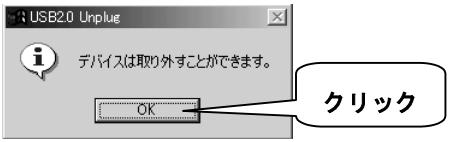
PCカード（PCMCIA）の取り外しアイコン（茶色）はクリックしないでください。

3 表示されたデバイスをクリックします。

[I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller の取り外し]をクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。



5 本製品をパソコンのPCカードスロットから取り外します。

以上で、本製品の取り外しは完了です。
再度本製品を取り付ける際は、そのまま挿入してください。

無線 LAN スイッチ

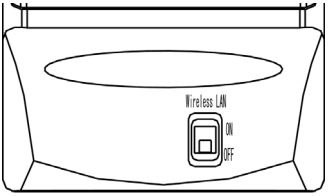
スイッチの入れ方・切り方

ここでは、無線 LAN スイッチの使い方について説明します。

1 本製品を取り外します。

取り外し方は【本製品の取り外し方】（１０３ページ）を参照してください。

2 無線LANスイッチを［OFF］にします。



参考

もう一度無線LANを使う場合は

スイッチを［ON］にして、そのまま挿入してください。

注意

PCカードを本体に挿したままスイッチを［OFF］にしないでください

誤作動の原因となります。

スイッチを［ON］にする場合は、問題ありません。

無線LANを使うときには

【本製品で使用する電波について】（８ページ）に該当する場所では、無線LANスイッチを［OFF］にしてください。

USB 機器の使用

USB 機器の使用（取り付け・取り外し等）を行う場合は、USB 機器の取扱説明書をご覧ください。



弊社製USBドライバを使用する場合は

USB機器の内、ストレージデバイス以外のアイソクロナス転送を行う機器（カメラやビデオキャプチャなど）、および、USB 2.0対応のハブをUSB 2.0のハブとして使用するには、Windows XP/2000でMicrosoft社製のUSB 2.0対応ドライバソフトを使用する必要があります。

弊社製ドライバソフトを使用した場合は、USB 1.1の機器およびハブとして動作し、また、ハブに接続したUSB機器もUSB 1.1機器として動作します。

その他の注意については、【USBについて】（１２４ページ）をご覧ください。

USB機器の認識について

USB機器を接続後、認識されるまでに数十秒かかる場合があります。

付録

設定ユーティリティについて ・・・・・・・・・・・・ １０９
無線 LAN の様々な設定をするときにご覧ください。

暗号化する ・・・・・・・・・・・・ １１３
通信を暗号化する方法を説明します。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・ １２１
サポートソフトの削除方法を説明します。

USB について ・・・・・・・・・・・・ １２４
USB についての説明をします。

IP アドレスについて ・・・・・・・・・・・・ １２６
IP アドレスについての説明をします。

オプション品について ・・・・・・・・・・・・ １２８
オプション品について説明します。

困ったときには ・・・・・・・・・・・・ １２９
本製品を使っていて異常があったときにご覧ください。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・ １４０
本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・ １４３
本製品の仕様を説明します。

お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・ １４５
サポートセンターへのお問い合わせ先です。

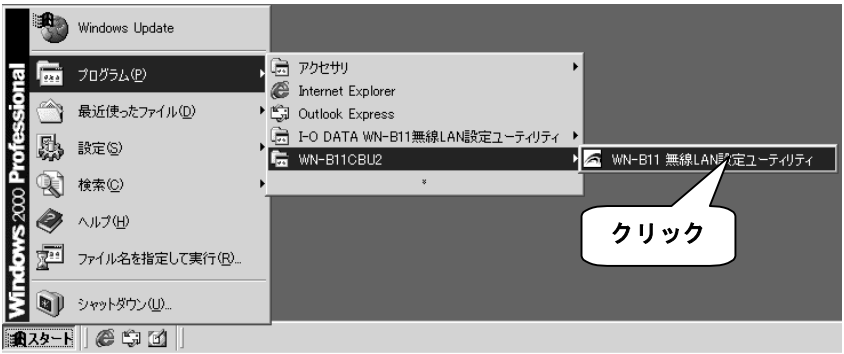
設定ユーティリティについて

暗合化の設定や設定ユーティリティを使って設定を行う方法を説明します。設定ユーティリティを使用するのはWindows 2000/Me/98のみです。

設定ユーティリティを起動する

● **設定ユーティリティを起動します。**

[スタート]→[プログラム]→［WN-B11CBU2］→[WN-B11 無線 LAN 設定ユーティリティ]を順にクリックします。



参考

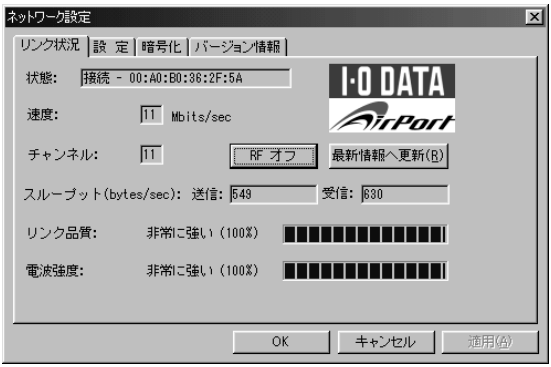
設定ユーティリティの終了方法

タスクトレイに表示されるアイコンを右クリックして、[終了]をクリックしてください。

リファレンス

●リンク状況

［リンク状況］タブでは、現在の通信状況を表示します。



項目	内容
状態	接続されている場合は、接続先のMACアドレスが表示されます。（アドホックモードの場合は､使用環境によって表示が変わります）
速度	現在のリンク速度 (AUTO、11Mbps、5.5Mbps、AUTO 1or2Mbps)
チャンネル	現在のチャンネル(1～14ch)
スループット	転送速度（1秒間に何バイト送信されているか）
リンク品質	接続されている無線LAN機器とのリンク品質 (表示されているバーが多いほど高品質の通信を行っています。アドホックモードの場合は、非表示となります。)
電波強度	接続されている無線LAN機器との電波の強度 (表示されているバーが多いほど強い電波を受信しています。アドホックモードの場合は、非表示となります。)
[RFオフ]ボタン	電波の送受信を停止します。再開する場合は、再度クリックします。
[最新の情報へ更新]ボタン	最新の情報を取得し、表示を更新します。

●設定

［設定］タブでは、無線 LAN の設定/登録を行うことができます。
登録されたプロファイル名が表示されます。



項目	内容
プロファイル	現在登録されているグループ名 **※半角60文字まで入力可（使用文字制限なし）**
SSID	設定されているSSID **※半角英数字32文字まで入力可**
モード	設定されているモード （インフラストラクチャ、アドホック）
チャンネル	インフラストラクチャモード時 …設定されているチャンネル(1～14ch) アドホックモード時 …チャンネルを指定できます。
速度	リンク速度を指定できます。 (1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps、Auto)
[初期値]ボタン	設定を初期値に戻します。
[やり直し]ボタン	設定を最初からやり直します。

参考

プロファイルの登録について

自宅や会社など複数の環境で本製品を使用する場合に、以下の手順で事前に環境に合わせた設定を登録しておくことができます。

①［プロファイル］に任意の文字列を入力します。
②［SSID］を入力します。
③［モード］を選択します。
④［OK］ボタンをクリックします。

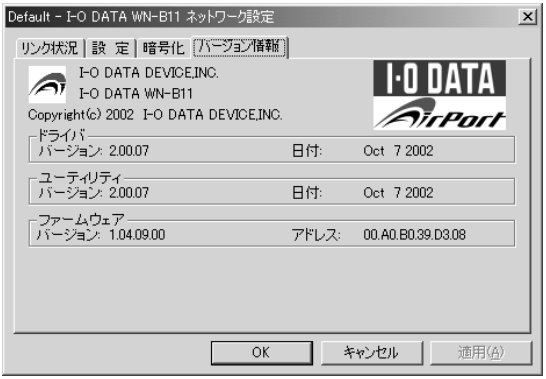
●暗号化

［暗号化］タブでは、暗号化の設定ができます。
詳しくは、【暗号化する】（１１３ページ）をご覧ください。



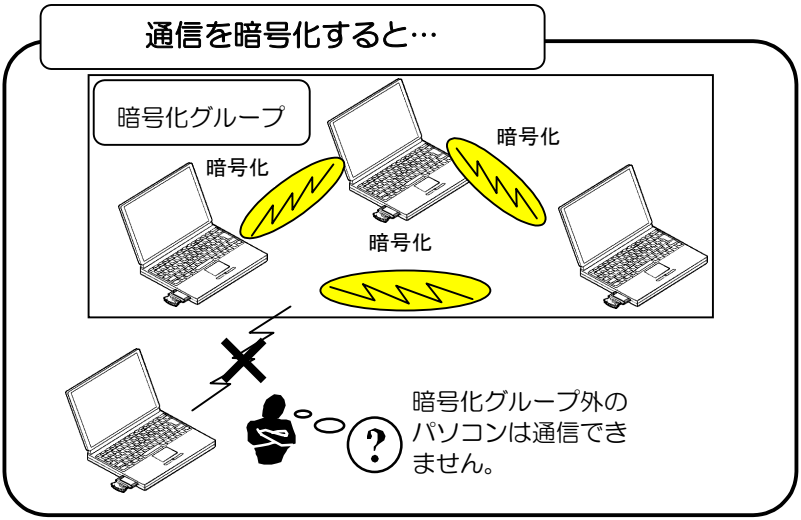
●バージョン情報

［バージョン］タブでは、設定ユーティリティのバージョンなどを確認できます。



暗号化する

通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。本製品では、無線 LAN の暗号化の標準である WEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。ここでは、本製品の通信を暗号化する方法を説明します。



暗号化を行う場合は
暗号化して通信するすべてのパソコンで設定が必要です。アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号キーに合わせてください。

ご使用の Windows によって設定方法が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP をお使いの場合	下記
Windows 2000/Me/98 をお使いの場合	１１７ページ

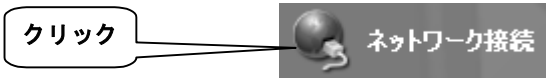
●Windows XP をお使いの場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

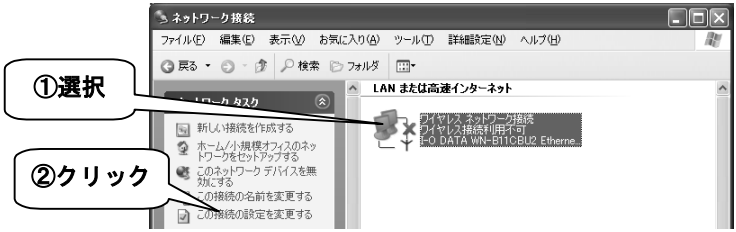


3 [ネットワーク接続]をクリックします。



4 設定を変更します。

[ネットワーク接続]では、インストール済みの[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンが表示されますのでアイコンを選択後、[この接続の設定を変更する]をクリックします。



参考

[ワイヤレスネットワーク接続] が表示されない場合は

【困ったときには】の【ワイヤレスネットワーク接続が表示されない】（１３３ページ）をご覧ください。

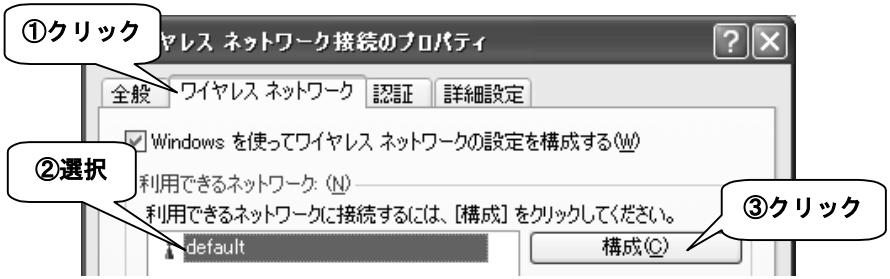
5 暗号化設定をするネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。

②暗号化設定をする接続を選択します。

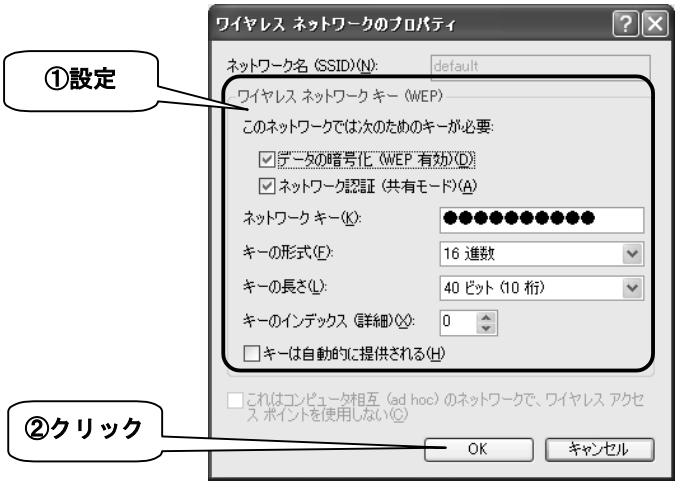
③[構成]ボタンをクリックします。

※Windows XP Service Pack 1では画面が一部異なります。



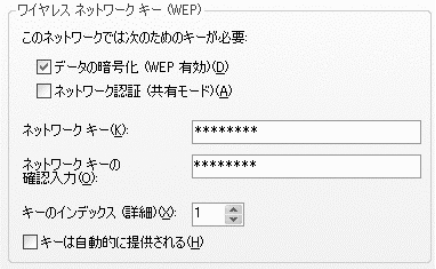
6 暗号化設定をし、[OK]ボタンをクリックします。

※Windows XP Service Pack 1では画面や設定が異なります。次ページを参照してください。



データの暗号化 (WEP 有効)	暗号化(WEP)を有効にする場合にチェックします。
ネットワーク認証 (共有モード)	共有キー(シェアードキー)を使用する場合にチェックします
ネットワークキー	「キーの形式」に合わせた暗号キーを入力します。
キーの形式	暗号キーの形式を「ASCII 文字」「16 進数」から選択します。
キーの長さ	暗号キーを入力する長さを ASCII 文字の場合 「40 ビット(5 文字)」「104 ビット(13 文字)」 16 進数の場合 「40 ビット(10 桁)」「104 ビット(26 桁)」 から選択します。
キーのインデックス (詳細)	インデックスを 0～3 の範囲で指定します。 通常は 0 を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーがアクセスポイント(ルータ)側から、自動で提供される環境の場合はチェックします。

Windows XP Service Pack 1での暗号化設定



データの暗号化（WEP 有効）	暗号化(WEP)を有効にする場合にチェックします。
ネットワーク認証（共有モード）	共有キー(シェアードキー)を使用する場合にチェックします
ネットワークキー	暗号キーを入力します。
ネットワークキーの確認入力	上記［ネットワークキー］と同じ暗号キーを入力します。
キーのインデックス（詳細）	インデックスを 1～4 の範囲で指定します。 通常は 1 を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーがアクセスポイント(ルータ)側から、自動で提供される環境の場合はチェックします。

参考

別OS間（別バージョンOS間）で暗号化通信する場合は

OS や OS のバージョンによって、暗号化の表記が異なります。
詳細は、接続するネットワークの各無線LAN製品の取扱説明書を参照してください。

Windows XPと弊社製「設定ユーティリティ」での表記の違い

XP		XP SP1		設定
［キーの長さ］	＝	－※	＝	［データの暗号化］
40 ビット	＝	－※	＝	64bit
104 ビット	＝	－※	＝	128bit

XP		XP SP1		設定
［キーのインデックス］	＝		＝	［ネットワークキー］
0	＝	1	＝	キー1
1	＝	2	＝	キー2
2	＝	3	＝	キー3
3	＝	4	＝	キー4

XP＝Windows XP　　XP SP１＝Windows XP Service Pack 1
設定＝設定ユーティリティ

※Windows XP Service Pack 1 の場合は、キーの形式・キーの長さは Windows が自動設定するので、設定の必要はありません。

●Windows 2000/Me/98 をお使いの場合

1 設定ユーティリティを起動します。

2 ［設定］タブで暗号化するプロファイルを選択します。



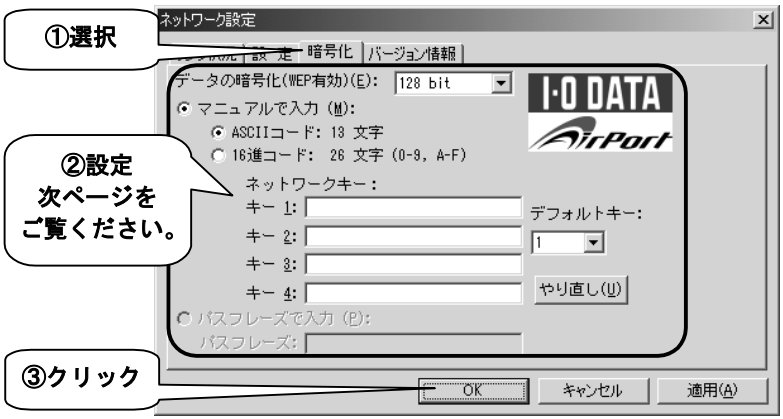
3 暗号化の設定をします。

①[暗号化]タブをクリックします。

②[暗号化(WEP)の設定]をします。

→詳しくは次ページをご覧ください。

③[OK]ボタンをクリックします。



1.[データの暗号化（WEP 有効）]を選択します。

なし	通信時の暗号化は行いません。
64 bit	64Bit の暗号化を行います。
128bit	128Bit の暗号化を行います。

2.キーを設定します。

→[ASCII コード]か[16 進コード]かを選択し、[ネットワークキー]を入力します。

入力するキー	0～9またはA～Fの文字列を用いて入力します。設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 （他社製品との暗号化については、次ページ参照）

参考

別OS間（別バージョンOS間）で暗号化通信する場合は

OS や OS のバージョンによって、暗号化の表記が異なります。
詳細は、接続するネットワークの各無線LAN製品の取扱説明書を参照してください。

Windows XPと弊社製「設定ユーティリティ」での表記の違い

XP	XP SP1	設定
[キーの長さ]	-※	[データの暗号化]
40 ビット	-※	64bit
104 ビット	-※	128bit

XP	XP SP1	設定
[キーのインデックス]		[ネットワークキー]
0	1	キー1
1	2	キー2
2	3	キー3
3	4	キー4

XP＝Windows XP　　XP SP１＝Windows XP Service Pack 1
設定＝設定ユーティリティ

※Windows XP Service Pack 1 の場合は、キーの形式・キーの長さは Windows が自動設定するので、設定の必要はありません。

3.[デフォルトキー]を決めます。

[キー1]～[キー4]のうち、使用するキーを選択します。
（[やり直し]ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。）

暗号化を行う場合は

・暗号化して通信するすべてのパソコンで設定が必要です。
・アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号キーに合わせてください。
・本製品の WEP キーは、WN-B11/PCM などで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16 進コードまたは ASCII コードのみ互換性があります。
・[パスフレーズで入力]は使用できません。

暗号化と通信速度について

暗号化の設定レベル（64bit、128bit）が高いほど強固な暗号化になりますが、無線LAN自体の速度が遅くなる場合があります。

暗号キー入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含むWN-B11シリーズでは、暗号キーとして16進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、５文字の英数字・記号で暗号キーを指定する方式や、文字列から16進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。

これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号の５文字で暗号キーに使用する文字列を決め、16進コードを入力できない他社製品はこの５文字の文字列を入力します。

WN-B11シリーズや16進コードを入力可能な他社製品にはこの５文字の文字列を次ページ対応表に基づき、16進コードに変換したうえで入力することで通信可能となります。

各文字と 16進コードの対応については次ページの表を参照してください。

〈例〉 文字で "WNB11" と設定している場合、
16進コードでは [57 4e 42 31 31] となります。
W N B 1 1

文字	16進
!	21
″	22
#	23
$	24
%	25
&	26
’	27
(	28
)	29
*	2a
+	2b
,	2c
−	2d
.	2e
/	2f

文字	16進
0	30
1	31
2	32
3	33
4	34
5	35
6	36
7	37
8	38
9	39
:	3a
;	3b
<	3c
=	3d
>	3e
?	3f

文字	16進
@	40
A	41
B	42
C	43
D	44
E	45
F	46
G	47
H	48
I	49
J	4a
K	4b
L	4c
M	4d
N	4e
O	4f

文字	16進
P	50
Q	51
R	52
S	53
T	54
U	55
V	56
W	57
X	58
Y	59
Z	5a
[	5b
¥	5c
]	5d
^	5e
_	5f

文字	16進
`	60
a	61
b	62
c	63
d	64
e	65
f	66
g	67
h	68
I	69
j	6a
k	6b
l	6c
m	6d
n	6e
o	6f

文字	16進
p	70
q	71
r	72
s	73
t	74
u	75
v	76
w	77
x	78
y	79
z	7a
{	7b
|	7c
}	7d
~	7e

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。
ご使用の Windows によって削除方法が違いますので、必要な個所をお読みください。

利用環境	
Windows XP をお使いの場合	下記
Windows 2000/Me/98 をお使いの場合	１２２ページ

Windows XP をお使いの場合

「サポートソフト」の削除方法について説明します。

1 本製品に接続されている全てのUSB機器※を取り外します。
※マウス、キーボードを除く
⇒取り外す方法は、【USB機器の使用】（１０７ページ）をご覧ください。

2 本製品を取り外します。
⇒取り外す方法は、【本製品の取り外し方】（１０３ページ）をご覧ください。

3 サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。

4 CD-ROM内の[Uninst]アイコンをダブルクリックします。
[マイコンピュータ]→［CD-ROM］→［Winxp］→［Uninst］をダブルクリックします。

5 あとは画面の指示に従ってください。

以上で、「サポートソフト」は削除されました。

Windows 2000/Me/98 をお使いの場合

［I-O DATA WN-B11CBU2 無線 LAN 設定ユーティリティ］を削除すると、ドライバもすべて削除されます。

1 本製品に接続されている全てのUSB機器※を取り外します。

※マウス、キーボードを除く

⇒取り外す方法は、【USB機器の使用】（１０７ページ）をご覧ください。

2 本製品を取り外します。

⇒取り外す方法は、【本製品の取り外し方】（１０３ページ）をご覧ください。

3 ［アプリケーションの追加と削除］を開きます。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］をクリックします。

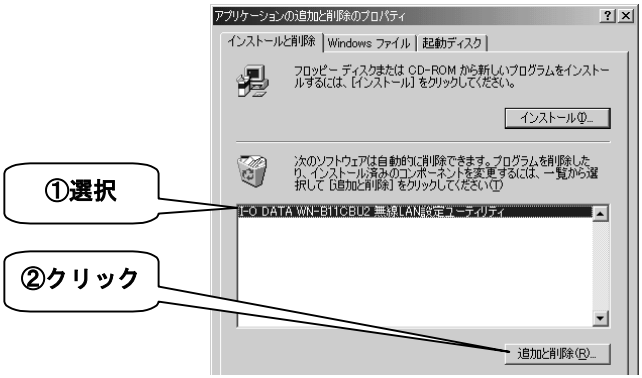
4 [I-O DATA WN-B11CBU2 無線LAN設定ユーティリティ]を削除します。

①[I-O DATA WN-B11CBU2 無線LAN設定ユーティリティ]を選択します。

②[変更/削除]（または[追加と削除]）ボタンをクリックします。



Windows 2000 の場合



Windows Me/98 の場合

5 後は画面の指示に従ってください。

以上で、「サポートソフト」は削除されました。

USB について

USB [Universal Serial Bus] とは？

USB は、キーボードやマウスなどさまざまな周辺機器を接続するために利用されており、パソコンの電源を切らずに USB 機器の抜き差し（ホットプラグ）ができます。
USB には、バージョン 1.1(1.0)とバージョン 2.0 があります。
1.1 は、Low,Full Speed に対応し、2.0 は Low,Full,High Speed に対応しています。
転送方式については、以下をご覧ください。

転送方式

本製品は、下表の転送方式に対応しています。
転送方式は接続する USB 機器によって異なります。

転送方式	スピード			主な用途
	High	Full	Low	
アイソクロナス	○※	○	－	ビデオカメラやスピーカー
インタラプト	○※	○	○	キーボードやマウス
バルク	○	○	－	プリンタやスキャナ
コントロール	○	○	○	デバイス制御用

※弊社製 USB ドライバを使用する場合は、未対応となります。

参考

最大スピード
High Speed = 480Mbps　Full Speed = 12Mbps　Low Speed = 1.5Mbps

転送方式の詳細
アイソクロナス転送：マルチメディア用に一定の帯域を保証する転送方式
インタラプト転送：定期的にUSB機器に問い合わせをする転送方式
バルク転送：不定期に行なわれる一般的なデータ転送を想定した転送方式
コントロール転送：USB機器の環境設定を行う転送方式

電源による USB 機器の分類

USB機器は、使用する電源により下のように分類されます。

USB機器の分類		電源	消費電流
バスパワードデバイス	ハイパワーデバイス	USBポート	100～500mA
	ローパワーデバイス		100mA以下
セルフパワードデバイス		電源コンセント	－

接続

本製品には、最大 127 台までの USB 機器が接続可能です。
ただし、USB ポートの数を超えて USB 機器を接続する場合は、別途「USB ハブ」が必要となります※。（USB ハブも USB 機器の 1 台となります。）
USB2.0 機器を接続する場合は USB2.0 ハブ、USB1.1 機器を接続する場合は USB1.1 ハブを使用します。
末端の USB 機器と本製品の間には最大 5 台までの USB ハブを接続することができます。

※ USB ハブを使用する場合、Microsoft 社製 USB2.0 ドライバをお使いください。
弊社製ドライバを使用した場合は、USB 1.1 ハブとして動作します。



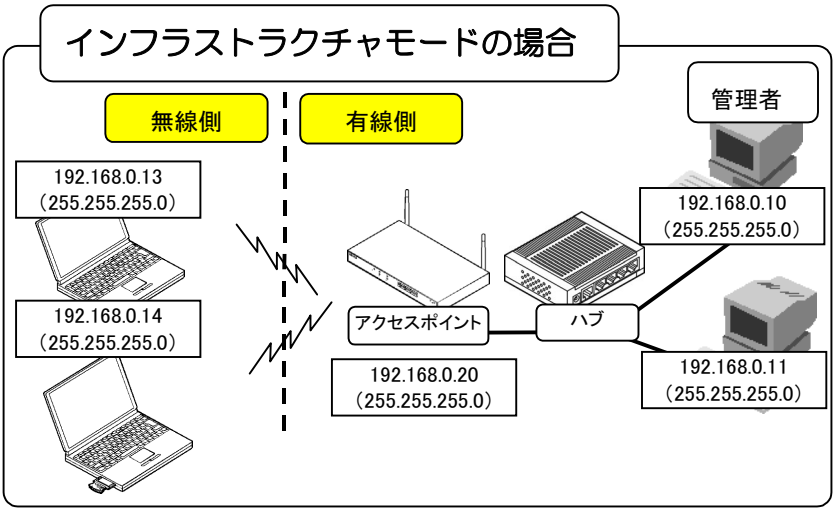
USBハブにUSB機器を接続する場合は･･･
USB機器をUSBハブに接続する際には、下の項目をご確認ください。
・USBハブが供給できる電力
・USB機器がUSBポートから消費する電力

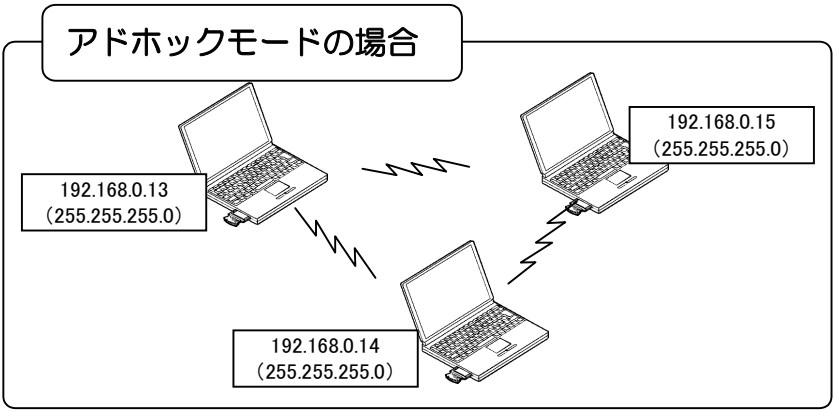
IP アドレスについて

IP アドレスの設定例

以下は IP アドレスの設定例です。

内の上段は IP アドレス
内の下段はサブネットマスク





参考

IPアドレスについて

上図はIPアドレスを固定にした場合の例です。自動取得に設定している場合で、DHCPサーバが存在しない場合は、「169.254.xxx.xxx」というアドレスが自動生成されます。

IP アドレスのクラス

IPアドレスは、ネットワークを構成するパソコンの台数に応じて、３つのクラスに分かれます。
大規模なネットワークならば［クラスAのIPアドレス］、中規模なら［クラスBのIPアドレス］、小規模の場合は［クラスCのIPアドレス］となります。
同一のネットワーク内では、同一クラスのIPアドレスである必要があります。
実際には、IPアドレスは、ピリオドで区切られた４つの数字の羅列で構成されていて、４つのうち最初の数字で、クラスが分けられます。



IP アドレス　xxx. xxx. xxx. xxx

クラスは以下のように分類されています。

IP アドレスの最初の数字※	クラス	用途（ネットワークを構成するパソコンの台数）
１～１２６	クラスA	大規模ネットワーク用（最大約 1600 万台）
１２８～１９１	クラスB	中規模ネットワーク用（最大約 65000 台）
１９２～２２３	クラスC	小規模ネットワーク用（最大 254 台）

※「127、224～255」は通常の IP アドレスとしては使われていません。

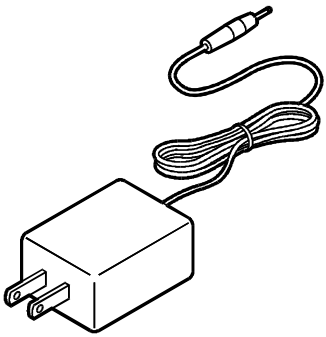
例えば、数台～数十台で構成されるネットワークでは、クラスCのIPアドレスを使用します。
通常、ネットワークを構成する場合は、以下の特別なローカルIPアドレスを使用します。

クラス	設定する IP アドレス
クラスA	10.　0.　0.　0　～　10.255.255.255
クラスB	172.　16.　0.　0　～　172.　31.255.255
クラスC	192.168.　0.　0　～　192.168.255.255

オプション品について

本製品に接続する USB 機器（バスパワー）の電流値が 100mA～500mA の場合※は、以下の別売の AC アダプタ（USB-ACADP）を、弊社ファクトリストア（http://www.iodata.net/factory/）または店頭にて別途ご購入ください。
また、パソコン本体に USB ポートがある場合は、【電流値の大きい USB 機器を接続する場合】（１４ページ）を参照して USB 電源補助ケーブルを接続してください。
→500mA を超える場合は保証外です。あらかじめご了承ください。

USB-ACADP・・・・5V、2.2A を供給



ACアダプタは必ず別売のACアダプタ（USB-ACADP）をご使用ください
別売のACアダプタ（USB-ACADP）以外を使用した場合は正常に動作せず、故障の原因になります。

※AC アダプタまたは電源補助ケーブルが必要な例

	本製品に接続する USB 機器	消費電流（USB ポートから供給）
USB ポート	バスパワーHDD	500mA（max）

・消費電流が 100mA を超えているので、AC アダプタまたは電源補助ケーブルが必要

※AC アダプタまたは電源補助ケーブルが不要な例

	本製品に接続する USB 機器	消費電流（USB ポートから供給）
USB ポート	USB マウス	100mA（max）

・消費電流が 100mA を超えていないので、AC アダプタまたは電源補助ケーブルは不要
・セルフパワーの USB 機器を接続した場合、AC アダプタまたは電源補助ケーブルは不要

困ったときには

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

インストール時のトラブル

インストール画面が表示されない	130
インストール途中に[キャンセル]ボタンをクリックした	
[I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller] [NEC PCI to USB Open Host Controller] の頭に「！」や「×」マークがある	
インストール後の確認で、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されない （Windows Me/98 のみ）	131
インストール後の確認で、デスクトップに［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）アイコンが表示されない（Windows Me/98 のみ）	
本製品を取り付けてもタスクトレイにアイコンが出ない	
［ネットワーク］画面に、[TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、[TCP/IP－＞I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter]が表示されていない （Windows Me/98 のみ）	132

無線 LAN 使用時のトラブル

他社アクセスポイントで、空白や ANY という SS ID を設定したアダプタの接続を許可しない設定にした場合、本製品が通信できない	133
［デバイスマネージャ］の確認で、[I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter] が表示されない	
［デバイスマネージャ］の確認で、[I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter] の頭に「！」マークが付いている	
ワイヤレスネットワーク接続が表示されないワイヤレスネットワーク接続が表示されない	
［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない	134
設定ユーティリティがインストールできない	135
［利用できるネットワーク］に確認した SS ID が表示されない （Windows XP のみ）	
[マイネットワーク]（ネットワークコンピュータ）アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない（Windows Me/98 のみ）	136

USB 機器使用時のトラブル

USB 機器が動かない	136
USB 機器の転送速度が遅い	

インストール時のトラブル

インストール画面が表示されない

原因１　インストールが終了している

本製品のインストールが正常に終了すると、次回からはインストール画面は表示されません。

原因２　本製品がパソコンの PC カードスロットに正しく取り付けられていない

確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

インストール途中に[キャンセル]ボタンをクリックした

「サポートソフト」を CD-ROM ドライブから取り出し、本製品を接続した状態で Windows を再起動してください。Windows の再起動後、【USB ドライバのインストール】（２０ページ）の、お使いの OS の手順 4 から順にインストールを行ってください。

[I-O DATA PCI to USB Enhanced Host Controller] [NEC PCI to USB Open Host Controller] の頭に「！」や「×」マークがある

原因１　正しくインストールされていない

サポートソフトを削除してから、再度インストールしてください。

⇒【サポートソフトの削除】（１２１ページ）
⇒【インストール】（１９ページ）

原因２　リソースがうまく割り当てられていない

Windows を再起動してください。

インストール後の確認で、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されない（Windows Me/98 のみ）

原因 **ドライバが正常にインストールされていない**

【インストール後の確認】（６６ページ）で正常にインストールされているかを確認してください。

インストール後の確認で、デスクトップに [マイネットワーク]（ネットワークコンピュータ）アイコンが表示されない（Windows Me/98 のみ）

原因 **ネットワークの設定で [Microsoft ネットワーククライアント] が登録されていない**

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を開き、[Microsoft ネットワーククライアント]が登録されているか確認してください。無い場合は、[追加] ボタンで追加してください。

また、[優先的にログオンする]が[Microsoft ネットワーククライアント]になっていることも確認してください。

本製品を取り付けてもタスクトレイにアイコンが出ない

原因 **本製品が正しく取り付けられていない**

本製品が正しく取り付けられているか確認してください。

［ネットワーク］画面に、[TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、[TCP/IP－＞I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter]が表示されていない（Windows Me/98 のみ）

原因

登録されている LAN アダプタの数が多い
（登録できる LAN アダプタの数には制限があります）

［ネットワーク］画面で、必要の無い、あるいは使用していない LAN アダプタをクリックして、［削除］ボタンで削除してください。

●必要の無い LAN アダプタの例

・以前使用していたが、現在使用していない LAN アダプタ

・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」
※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。
また、パソコン本体の BIOS の設定が必要となる場合がありますので、詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

無線 LAN 使用時のトラブル

他社アクセスポイントで、空白や ANY という SS ID を設定したアダプタの接続を許可しない設定にした場合、本製品が通信できない

原因 **本製品は仕様上この設定では接続できません**

アクセスポイント側で、「空白や ANY の SS ID を持ったアダプタの接続を許可する」にしてご利用ください。

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter］が表示されない

原因 **本製品を正しく取り付けていない**

本製品が正しく取り付けられているか確認してください。

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA WN-B11CBU2 Ethernet Adapter］の頭に「！」マークが付いている

原因 **パソコンを再起動していない**

パソコンを一度再起動します。再起動後、【インストール後の確認】（６６ページ）の手順で再度確認してみてください。

ワイヤレスネットワーク接続が表示されない

原因 **無線 LAN スイッチが入っていない**

無線 LAN スイッチが［ON］になっているか確認してください。

［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない

原因１ **本製品を正しく取り付けていない**

本製品が正しく取り付けられているか確認してください。

原因２ **通信先と同じ SS ID を設定していない（アクセスポイントを使用していない場合）**

通信先と同じ SS ID にする必要があります。SS ID を同じ値にしてください。

原因３ **通信先との通信チャンネルの値を同一にしていない（アクセスポイントを使用していない場合）**

アクセスポイントがない場合は、通信先と同じ通信チャンネルにする必要があります。通信チャンネルを同じ値にしてください。

原因４ **通信先と同じワークグループ名が指定されていない（アクセスポイントを使用していない場合）**

【ファイルを共有する】（８９ページ）の各 OS の項を参照して、ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を設定してください。

原因５ **アクセスポイントと同じ SS ID を設定していない（アクセスポイントを使用している場合）**

アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じ SS ID にする必要があります。SS ID を同じ値にしてください。

原因６ **IP アドレスの設定が間違っている**

正しく設定してください。【ファイルを共有する】（８９ページ）

原因７ **無線状態が悪く、電波が届かない**

無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。

設定ユーティリティがインストールできない（以下のエラーとなる）

「InstallShield エンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。
システムは、指定されたデバイスからは読み取れません。」

原因 パソコンの常駐しているアプリケーションが、InstallShield の動作の妨げになっている

設定ユーティリティをインストールする場合のみ、常駐しているアプリケーションを常駐解除してください。

アプリケーションの常駐解除方法は、各アプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。（「設定ユーティリティ」のインストール時のみのもので、インストール後は、常駐してもかまいません。）

［利用できるネットワーク］に確認した SS ID が表示されない（Windows XP のみ）

原因１ お使いのアクセスポイントが SS ID を通知しないタイプのものである

①［優先するネットワーク］内の、［追加］ボタンをクリックします。

②［ネットワーク名（SS ID）］に、お使いのアクセスポイントの SS ID を入力して、［OK］ボタンをクリックしてください。

原因２ 参照タイミングが合わなかった

・ワイヤレスネットワークタブ内の「最新の情報に更新」ボタンを何度か押してください。

・Windows を再起動してください。

[マイネットワーク]（ネットワークコンピュータ）アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない（Windows Me/98 のみ）

原因 **Windows のネットワーク機能が正常に動作していない**

【ネットワーク機能を確認する】（１３８ページ）を参照してください。

USB 機器使用時のトラブル

USB 機器が動かない

原因１ **USB 機器を正しく接続していない**

USB 機器の取扱説明書をご覧になり、もう一度接続してください。

原因２ **USB ハブが電源を供給できていない**

USB ハブに接続している場合、USB 機器が必要としている電源を USB ハブから供給できない可能性があります。
「USB ハブが供給できる電力」と「USB 機器が USB ポートから消費する電力」をご確認ください。

原因３ **本製品が電源を供給できていない**

本製品の USB ポートが電源を供給できていない可能性があります。【電流値の大きい USB 機器を接続する場合】（１４ページ）を参照して USB 電源補助ケーブルを接続するか、【オプション品について】（１２８ページ）の別売 AC アダプタを接続してください。

USB 機器の転送速度が遅い

原因１ **USB 2.0 機器ではない**

弊社製 HDA/USB シリーズなどの USB 1.1 機器は、USB 1.1 の転送となります。

原因２ USB ハブに接続している

本製品では、Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバを使わない場合は、USB ハブに接続した USB 機器は、USB 1.1 機器として動作します。USB 2.0 機器は、本製品の USB ポートに直接接続してください。

●ネットワーク機能を確認する

正常に組み込まれなかったネットワークに関するものを以下の順番で削除を行ってください。

1 ［ネットワーク］を開きます。

［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］を順にダブルクリックします。

2 各項目を削除します。

［ネットワーク］画面に表示される内容を以下の種類順に削除してください。



削除する順番について
削除する順番が異なると、ネットワークがうまく構成し直せなくなる場合がありますので、必ず下記の順で削除してください。

＜削除する順番＞

1）サービスをすべて削除します。



[Microsoft ネットワーク共有サービス]など[xxxx 共有サービス]という名称のものが該当します。

サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

2）クライアントをすべて削除します。



[Microsoft ネットワーククライアント]、[Microsoft ファミリログオン]など[xxxxクライアント]という名称のものが該当します。

［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開いて、クライアントをすべて削除します。サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3）プロトコルをすべて削除します。



[TCP/IP(TCP/IP->xxxx)]、[NetBEUI(NetBEUI->xxxx)]、[IPX/SPX(IPX/SPX->xxxx)という名称のものが該当します。

プロトコルの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3 各項目を追加します。

［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開くと、アダプタ関連が残ります。その状態になりましたら、お客様が接続するネットワーク環境に必要なものを以下の順に追加を行います。

＜追加する順番＞

1) クライアントとプロトコルを追加します。

※クライアントを追加しますと、プロトコルも一緒に追加されます。

追加する方法は、以下の通りです。

① ［追加］ボタンをクリックします。
② ［クライアント］をクリック後、［追加］ボタンをクリックします。
③ ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［クライアント］で必要なプロトコルの名称（［Microsoft ネットワーククライアント］など）をクリックし選択します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。
⑤ クライアントとプロトコルが追加されたことを確認します。

2) サービスを追加します。

追加する方法は、以下の通りです。

① ［追加］ボタンをクリックします。
② ［サービス］をクリック後、［追加］ボタンをクリックします。
③ ［製造元］で［Microsoft］を選択し、［サービス］で必要なサービスの名称（［Microsoft ネットワーク共有サービス］など）をクリックし選択します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。
⑤ サービスが追加されたことを確認します。

4 ［優先的にログオンする］を選択します。

［優先的にログオンする］は、上記にて追加し直したクライアントを選択してください。

5 パソコンを再起動します。

以上の設定を行って再起動した際、ネットワークへのログオン画面が表示されます。ここでは、キャンセルせずに必ず［OK］ボタンをクリックしてください。（パスワードは未入力でも可）

用語解説

本書内の用語を説明します。

ACPI（Advanced Configuration and Power Interface）［エーシーピーアイ］

Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenixが共同で開発し、発表されたPCや周辺機器の電力管理を行なうための規格。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理します。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができる。

Ad hoc［アドホック］

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態。
他にインフラストラクチャモード（Infrastructure mode）がある。

DHCP サーバ（Dynamic Host Configuration Protocol Server）［ディーエイチシーピーサーバ］

DHCP とは各クライアントや Ethernet 機器へ起動時に動的に IP アドレスを割り当て、終了時に IP アドレスを回収するためのプロトコル。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントや Ethernet 機器へ通知することもできる。
この動的に IP アドレスの割当を行う側の機器が DHCP サーバと呼ばれる。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバの機能を持っている。

DS-SS（Direct Sequence Spectrum Spread）［ディーエスエスエス］

無線通信における変調方式の１つ。
干渉がおきにくい、ノイズの影響を受けにくい、などの特徴がある。

Ethernet［イーサネット］

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CD アクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていた。

後にIEEE 802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義された。

IEEE 802.11（The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc 802.11）［アイトリプルイーはちゼロにーてんいちいち］

無線LANの国際的な標準規格。IEEE 802.11bでは、通信速度が11Mbpsまで拡張されている。

Infrastructure［インフラストラクチャ］

アクセスポイントを介して通信する形態。

MAC アドレス（Media Access Control Address）［マックアドレス］

Ethernet 機器ごとの固有の物理アドレス。

MAC アドレスは、先頭からの３バイトのベンダーコードと残り３バイトのユーザコードの６バイトで構成されている。

ベンダーコードは IEEE が管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet 機器のメーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられている。

Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っている。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

１秒間に伝送するデータの単位。

11Mbpsは１秒間に11メガビットのデータを伝送できる。

SS ID（Service Set ID）［エスエスアイディー］

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）。

SS IDが一致していないとそのネットワークには参加できない。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）［ティーシーピーアイピー］

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの１つ。

WEP（Wired Equivalent Privacy）［ダブリューイーピー］

IEEE 802.11b に含まれる標準の暗号化方式。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化する。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができない。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイント。他のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで他のパソコンと通信する。
有線LANと無線LANの中継点ともなる。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。

ピアツーピア接続

サーバ／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のこと。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要がある。

ハードウェア仕様

本製品の仕様を説明します。

本体仕様

パソコン側 インターフェイス	PC カード規格準拠 TypeⅡ CardBus スロット
割り込み（IRQ）	Plug & Play システムによる自動設定(1 つ使用)
動作温度	+5℃～35℃(パソコンの動作する範囲であること)
動作湿度	35%～80%(結露なきこと)
電源電圧	+3.3V±0.3V(CardBus スロットより供給)
消費電流（最大）	800mA(USB ポートへ 100mA 時)
質量	約 54g
本体サイズ	54mm(W)×121mm(L)×13.9mm(H)

無線 LAN インターフェイス仕様

通信規格	国際規格：IEEE802.11, IEEE802.11b 国内規格：ARIB STD-33, ARIB STD-T66
周波数範囲	2.4GHz 帯　(2,412～2,484MHz)
チャンネル	1～14ch
伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散（DS-SS 方式） 単信（半二重）
伝送速度	1Mbps, 2Mbps, 5.5Mbps, 11Mbps
変調方式	1Mbps　：DBPSK 2Mbps　：DQPSK 5.5Mbps,11Mbps：CCK
送信電力	10mW/MHz 以下
データ到達距離（最大）	屋内：約60m、屋外：約150m ※これらの値は、環境条件により変化します。
セキュリティ方式	WEP（Wired Equivalent Privacy）， SS ID（Service Set ID） ※SS ID はアクセスポイント使用時
アクセス方式	アドホック（Ad hoc） インフラストラクチャ（Infrastructure） ※インフラストラクチャはアクセスポイント使用時
ホストインターフェイス	カード内部で USB 接続(OHCI コントローラ)
認定番号	01NYDA 1325 01GZDA 1180

USB インターフェイス仕様

インターフェイス	OHCI コントローラ※1(×1)、EHCI コントローラ※2(×1)
転送方式※3	アイソクロナス/インタラプト/バルク/コントロール
転送速度※3	480Mbps/12Mbps/1.5Mbps
接続コネクタ	USB A ポート×1
USB ポート供給電源	AC アダプタ有り：500mA(MAX) AC アダプタ無し：100mA(MAX)

※1 OHCI コントローラ：Low Speed(1.5Mbps)、Full Speed(12Mbps)を制御
※2 EHCI コントローラ：High Speed(理論値 480Mbps)を制御
※3 詳しくは、【USB について】（１２４ページ）をご覧ください。

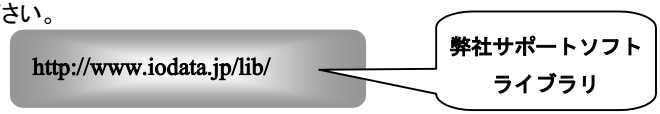
お問い合わせ

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困ったときには】(129ページ)で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。



また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポートライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。



2 それでも解決できない場合は…

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第 2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話　**無線 LAN のトラブルは**
本社…076-260-3644　東京…03-3254-1144
USB のトラブルは
本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036

FAX　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055

インターネット　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブル内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などを確認してください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（【お問い合わせ】（１４５ページ）をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証中は無料修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理を依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号, ご使用環境（機器構成、OSなど）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

WN-B11/CBU2 取扱説明書
2003.02.05　123043-02
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町 3 丁目 10 番地

© 2002-2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。